教育委員会 生涯学習課

						教育委員会 生	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		
施策			環境の充実						
区分	妥当性		妥当	コスト削減の領				適正	
	上位貢献	大度 7	与 効	類似事業の有	無無	成果向]上の余地 っ	有	
対象	市民								
施策が目指す姿	生涯学 。	習の拠点	となる施設の整	備充実及び、地	域住民の相互学	^丝 習による利用 <i>0</i>)促進を図る		
	とち社会	ぎ未来ア 教育施設	シストネット事 利用者数…平成	業のボランティ …平成29年度 29年度で787,00	ア年間活動回数 で4,800回(現り 0人(現状値715	文 术値4,344回) ,624人)			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1	予定	2,000.00	4,500.00	4,600.00	4,700.00	4,800.0	0	
	[📵]	実績	4,344.00	7,851.00	·	·	·		
目	成果指標 2	予定	702,000.00	718,000.00	735,000.00	753,000.00	787,000.0	0	
標	[人]	実績	709,353.00	739,408.00					
		単位コスト	0.51	0.49					
達	成果指標3	予定							
成	[]	実績							
状		単位コスト							
	成果指標4	予定							
況	[]	実績						_	
		単位コスト	 					_	
	トータルコスト / エロン	予定	388,041	357,787	0	0		0	
	(千円)	実績	362,045	364,934				<u> </u>	
 内	貢献度	上位旅 や利用	5策の目標指標「 日者数の向上が必	社教施設利用者 要であるため、 	「満足度」を向」 本単位施策の[上させるために 標値達成度に。	は、社教施設 よる貢献度は 	への関 高い。 ———	心
部	達成状況	アシス ができ	ストネット事業ボ た。	ランティア回数	7、社会教育施記	没利用者数とも	こ目標値を上	回るこ	ح
評	課題	アシス の不具	(トネット事業の 合がみられるこ	認知度が低い。 とから、計画的	また、施設の「 」な修繕が必要で	中には老朽化に(である。	半う機能の低	下や設	:備
価 	取組方針	アシス 地域の	(トネット事業の)特色ある社会教	啓発を推進する 育施設として施	。また、計画的 設利用環境のM	的・効率的な維持 句上を図る。	持管理を行い	ながら	`
外部評価	評価で検討 評価で検討 発して会ができる。 発して会ががより、 発し、 がは、 がは、 のが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、また	るすた情施要ミ 。る事報設でュ し余業発利あニ か地で信用るテ	トしがあるけい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きく上回る状況 画まで民のる状況な で具にないないのないで のながいでのながいでいるがないで といいではいいでは ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいでは、 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	は、目標値の設 目標値を検討し 知はみをという 組み者ののでした 利用のいった、 事業といった、	をはいであった。また。また。 またが くこと。また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	ったかにつ きた、本事 5らゆる手 には適正な もの結果指		
平	事業コード			名	称		トータルコスト(=	千円)	達成度
単位施策達成	562401	社会教		力金(栃木)			<u> </u>	1,020	100
施	563102		公民館管理運営費	, ,			_	9,944	100
東 達	563106	岩舟名	公民館管理運営費				27	7,072	100
	563401	皆川名	公民館管理運営費	Ę.			22	2,663	100
のた	565004	都賀么	公民館管理運営費	Ę.			15	5,299	100
め	567601	図書館	棺システム管理費	Ę.			14	1,342	100
の 車	582301	とち	ぎ未来アシストネ	スット事業費(村	厉木)		Į.	5,939	100
夢	582302	とち	ぎ未来アシストネ	スット事業費 (ス	大平)		,	1,626	100
の事務事業	582303	とち	ぎ未来アシストネ	ペット事業費 (萠	泰岡)			1,657	100
	582304	とちき	ぎ未来アシストネ	ペット事業費 (都	都賀)			869	100

教育委員会 生涯学習課

施策	5201	生涯学習環境の充実		
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	達成度
	582305	とちぎ未来アシストネット事業費 (西方)	1,594	100
	582306	とちぎ未来アシストネット事業費(岩舟)	918	100
	716201	栃木市図書館岩舟館管理運営費	5,809	100
	562501	コミュニティ施設管理費	9,165	98
	584506	下津原集会所管理費	1,248	98
	563501	吹上公民館管理運営費	29,149	93
	564305	西方公民館管理運営費	7,973	91
	563101	栃木公民館管理運営費	26,732	90
	563701	国府公民館管理運営費	30,211	90
	563301	大宮公民館管理運営費	26,644	85
	566502	大平伯仲集会所管理費	1,210	85
	566402	大平榎本集会所管理費	1,196	84
	564303	藤岡公民館管理運営費	30,963	81
	566702	大平西水代集会所管理費	1,274	81
	562701	皆川城内集会所管理費	1,254	80
	564103	藤岡都賀集会所管理費	1,165	80
単	562801	新栃木コミュニティ会館管理費	1,300	79
位	564203	藤岡富吉集会所管理費	1,198	78
-	584406	西根南集会所管理費	1,241	77
施	566602	大平真弓集会所管理費	1,206	76
策	566802	大平富田集会所管理費	1,246	71
達	563601	寺尾公民館管理運営費	30,708	70
连	472203	藤岡城山コミュニティセンター施設管理費	2,573	1
成	562301	太平少年自然の家敷地賃借費	2,253	1
၂ ၈ [562601	コミュニティ推進協議会補助金	3,800	1
	566001	社会教育事務費	2,337	1
た	582805	西方南部地区コミュニティセンター管理費	2,359	1
め	584206	静和地区公民館管理運営費	12,638	1
၂ ၈	584306	小野寺地区公民館管理運営費	2,139	1
	567903	藤岡図書館管理運営費		0
事	567905	栃木市図書館西方分館管理運営費		0
務	568004	都賀図書館管理運営費		0
	569205	栃木市図書館西方分館施設整備事業費		0
事	583102	大平公民館施設改修事業費	0	0
業	583703	藤岡公民館駐車場整備事業費		0
	583805	西方公民館施設整備事業費	0	0
	584104	都賀公民館空調設備改修事業費		0
	723001	地域連携推進モデル事業費		0

平成26年度

会	計		款項目 100	0401	予算事業コード	5625	501	事	業区	分	01 #	圣常的事	業 新	f規 /	その他	2	その他					基本的	施策			単位	 ĭ施策	
事業	Ě名	コミュニラ	ティ施設管理費		•						•						•	主	5201	生涯学習	の充実	Ę			生涯学習	環境の充		
担主係・	当部部 担当	▼ 乗 チーム名	教育委員会	生涯	学習課 生涯	学習:	担当	生涯	 厓学習	チーム	۲		担当	者 永	(田陽一			従										
事業	美の性	2 自	治事務	根拠》	法令等													•		事業期間	В Н	1 8	~ H 2	9 年度	全体事業		14.	080 千円
事業の概要	旧集会	厉木市内の	期間のない事業は コミュニティ 理及び維持補	施設	(第三地区、											П	幸 コミ	ュニ	ティが	間のない事態 過数を運営 施設が組	するう	うえで	必要な光	熱水費・燃	M料費が適用すること	正に支出で ができる。	されている	
単位	位: 【	千円、人	平成25年度決算	算額 平	平成26年度決算	見込										旅	短果						.平成29年		舌動回数 回(現状値 犬値715,62			
		国庫支出金		0		0							平点	成 2:	5 年度		124							平成	2 6 年度			
		県支出金	世 地方債 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																			*内	容】施	との管理	異及び維	持補修	<u>を</u> 行っ	
	事業費	地方債	地方債 0 0 0 1 第三地区、第四地区、第四地区、第四地区、第四地区、第四地区、第四地区、第四地区、第四														第六5 なび継ぎ	如这			こ。 【成集	₽】 \$	第三地[又(空訓	調設備改	修).	第四地	
事	費	その他特財	^{その他特財} 388 423 内 修を行った。 容 【成果】														() mp3	3 1113			(フ	ナペリ	レータ・	-修繕、	避難口	誘導灯	取替、	
事業費・		一般財源	^{その他特財} 388 423 内 修を行った。 - ^{一般財源} 1,619 5,742 そ													第	四地区	₹ (追	が打ち	を備す	写过、 電池取得	は、空間	日よう、 間設備改 ! 、第六	修)、	第五地	
指標		事業費 a	2,0	007	6,1	165	の成	第	肖力工	カリX	(詰	埋至ナ	リスき	器具	1修理)		理 <i>寺)</i> ○修繕]	· _事	•		冷症	艾 庫!	購入)、	南部均	ゼ区コミ	ュニテ	ィ連動	
がの推	人作	‡費 b	3,7	50	3,0	000	巢	を 	を行り	, 1、 龙25	施設 年度	の利便より第	性を四切り	を図 地区	図った。 【コミ <i>=</i>	ı =	ニティt	ェン			ス場(をえた		木伐採	・剪定)	を行い	、施設	環境を	
移	減値	面償却費 c				0		<u></u> タ	<u>7 — Î</u>	管理	費を	統合																
	総事	事業費 a+b+c	5.7	57	9,1	165			指標	票名						算占	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	
	結果	結果指標1 89,429.00 86,831.00 利用人数 コミュニティ施設(:値 90,000人												没(五箇所) တ [:]	年間延べ利	用人	数 平成	26年度目標	人	業の事後	XJII	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結馬	89,429.00 86,831.00 利用団体数 コミュニティ施設標値 5,000団体												设(五箇所) თ:	年間延べ利	用団	体数 平	成26年度目	団体	後評価	妥当	無	適正	有効	無	有	
事業改善計	利		その効果を具体は 便性及び安			憲し	た施		 の維	持管	理を	行う。																

計画

重

长十十事双事类领师主

	=	樣	式 1									177.	カル チ	扔	尹耒市	<u>т</u> тщ	रर							平成 2	6 年度	
会	Ħ	一般	ŧ	款項目	10040	1 予算事業コード	562	701	事業区分	01 8	経常的事業	新規	見/その他	2	その他					基本的	施策			単位	施策	
事業	名	皆川	城内第	長会所管理	費											主	5201	生涯学習	の充写	芼			生涯学習	環境の充乳	Ę	
担当係・:	部制	果 チー.	ム名	生活環境語	部 人権	・男女 人村	霍推進	担当	大平隣保館チ	- Д	į	旦当者	渡辺由夫			従										
事業	の性	·質	2 自	治事務	根拠	法令等 栃木	市集会	会所条	€例				•					事業期間	S	5 2	~ H3	1 年度	全体事第 (人件費)		6.	750 ^{千円}
事業の概要	Ė	当川は				3 1年度) まで 挂持補修を行		(何)を	、どういう方法で、	どうし	たいのか。対	象、手	段の記入)	Ш	達成目標	当川 ^は を朽ん	成内集会とする施	砂が維持	するう 補修で	うえで でき、	必要な光 市民が快	熱水費・炉 適に使用す	「ることが	正に支出さ できること	されている	
単位	· 注:	千円	、人	平成25年度	決算額	平成26年度決算	草見込							ħ	施果			プシストネ と利用者数			平成29年	度で4.800	回(現状値	4,344回) 4人)		
			支出金		0		0					平成	2 5 年度		125							平成	2 6 年度			
		県団	5出金		0		0								B.15 .						内容】					
	事業	事地方債 0 0 いのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、													甫修を	行う)		皆川	城	内集会院	听の管 理	!及び維	持補修	を行う	
事	費	地方債]	成 界	₹】 #264	丰度実績	丰				
事業費・		一船	財源		522		504	 そ	┃ 利用	1者数	Z 244	<u>.</u> 1	1,526人						禾	川用	当数 1	74回	1,167人	•		
指標		事業	業費 a		522		504	の成	維持 	修繕	語 誘導 網戸	灯ハ 張替	「ッテリ· ト	-3	爻 換				紅	王 持1	多繕 糸	給湯器 漏	水修理			
仮の推	人作	‡費	b		750		750	巣																		
超移	減值	西償±	却費 c				0																			
	総事	業 a·	費 + b + c		1,272	1	.254		指標名					算	出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	
	結果指標 1 執行率 決算額÷予算額 H2												種 H26目標	直 1	100%				%	事業の事後評価	\ T !!	余地	貝担	貢献度	の有無	の余地
	77.33 81.71 結果指標 2 利用者数 1,526.00 1,167.00 利用者数 H26目標値													500人					人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有
事業改善計				その効果を見 利便性で		^{記入)} し施設の	維持	管理	₹を行う。																	

計画

車

近太古事教事娄瓡価事

7		様式 1									ינעור	シー・	77	产未叶	ТЩ	18							平成 2	6年度	
会	計	一般	款項目	10040 ⁻	1 予算事業コート	562	801	事業区分	01 経常	常的事業	新規	! / その他	2	その他					基本於	施策			単位	施策	
事業	€名	新栃木コミ	ミュニティタ	会館管理	理費										主	5201	生涯学習	の充実	Ę			生涯学習	環境の充実	Ę	
担当係・	部設 担当	₹ チーム名	生活環境部	ß 人権	・男女 人	権推進	担当	大平隣保館チ	-7	担	旦当者	渡辺由夫			従										
事業	€の性	1 1 -			法令等标												事業期間	S	5 7	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費		6,	360 千円
事業の概要	ð	議党了(事業 新栃木コミ 主要事業】	期間のない事績 ユニティ会	業は平成 会館の管	3 1年度) まで 宮理及び維持	詩補修	^{(何)を} を行 ^っ	、どういう方法で、 う。	どうしたい	∖のか。対≨	象、手段	役の記入)	H	達成目標	f栃木	マニニァ	間のない事業 .ニティ会 ī化する施	館を追	営す	るうえで	必要な光熱 市民が快道	热水費・燃 園に使用す	料費が適I ることがで	Eに支出され できること。	っている
単化	立:	千円、人	平成25年度	決算額	平成26年度決	算見込							施策	成 と	: ちき :会教	ぎ未来ア 対育施設	′シストネ 战利用者数	ット事 …平成	業の 129年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間消度で4,800 000人(現場	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金		0		0				3	平成 2	 2 5 年度		1示							———— 平成	 2 6 年度			
		県支出金		0		0		【事業の	内容】								1	事業	€Ø₽	内容】					
	事業費	地方債		0		0	事業の	│ ・新栃木 │ 修を行う		ュニテ	イ会	館の管理	₹及	び維持	寺補	İ		新板を行]ミュ:	ニティタ	会館の管	理及び	維持補	
事	費	その他特財									成果	₹ 】	F度実約	書											
美費・														- +42				利	」用も	皆数 1	64回	1,312人	 +		
事業費・指標		事業費 a		563		550	の成		的一个	火災	報知	ッテリー 器バッテ	- 父 - リ	ング リー交換	칯			糾	詩作	多 語	トアクレ	コーザー	父揆		
の推	人作	‡費 b		750		750	果																		
移	減值	面償却費 c				0																			
	総事	事業費 a+b+c		1,313	1	,300		指標名					算出	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結果指標 1 株子 株子 株子 株子 株子 株子 株子										額 H26目標値	E 80	0%				%	事業の事後評価	X - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結果指標 2											6目標値 2,30	00人					人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有
事業改善計画			その効果を具)利便性を		^{記入)} し施設の	維持	管理	型を行う。																	

平成26年度

		1水工(_									
会	計	一般		款項目 100)402 予算等	事業コード 563	101	事業区分	01 経常的	的事業	新規,	/ その他	2 7	の他					基本的	施策			単位	施策	
事美	Ě名	栃木公	民館	管理運営費											主	5201	生涯学習	の充詞	ŧ			生涯学習	環境の充実	実	
担主係・	当部部 担当	果 チーム名	3	教育委員会 2	生涯学習記	課 公民館担	.当 柞	栃木公民館チー	<u>ل</u>	担当	当者 オ	大橋幸子			従										
事業	美の性	賃 2	自治	台事務	根拠法令等	等 社会教育法	去、栃	示木市公民館条例	別、同施行規	見則					-		事業期間	1	1 8		0 年度	全体事 (人件費		102,	935 千円
事業の概要	(事 ・ 2 【 3	^{議完了(} 公民館放 公民館放 主要事業	施設(^{明間のない事業は} の適切な管理	平成31年原 運営を行	度) までに、誰(うう。	(何)を、	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象、	手段の	D記入)	達成目標	・生	涯学	習の増	間のない事業 建と共に 日主的な運	公民創	ほの剤	用を増加	させる。		·		
単位	単位:千円、人 平成25年度決算額 平成26年度決算見込 国庫支出金 0 日本以入 平成2												成 施果 策目	社	ちき 会教	未来ア (育施設	'シストネ 战利用者数	ット 導 …平原	■業の は29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間) 度で4,800 000人(現	舌動回数)回(現状値 伏値715,62	4,344回) 4人)		
県支出金 0 0 1 【事業の内容】										平	成 2	5 年度	標								平石	 ┇26年度			
事業の内容】																	1	事業	ÉØΓ	内容】					
											当及び団 生涯党	日体・ を翌ま	サー ・ ・ サ 油	クます		栃	木と	注	官施設(の管理道	運営及ひ Ĵ、生涯	団体・	サーク 歩准す		
事	費	その他特	寺財	1,0	40	907	の内容	る。	J/13 0226	/JH & KA	a . 7 、	工//主つ	- 11 0	. JE /E	= 7		る	0		17 (7)	шсы.) , <u> </u>	.THC		
事業費・		一般財	·源	10,6	87	10,825	合って	・利用件	数	1,8	6 5	5件					•	成果利用	件数	汝	1,	7 1 3 件 0 5 7 件	<u>-</u>		
指標		事業費	∄a	11,7	27	11,732	の	・利用者 	で	8 , 7	9 2	2人						利用	百多	X	28,0	J 5 / 11	-		
がの推	人作	‡費	b	15,0	00	15,000	成果																		
移 減価償却費 c 0 0																									
総事業費 a+b+c 26,727 26,732 指標名										算出方	法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上			
	結果	果指標~	1	1,865.	00	1,713.00	利用作	牛数		年間利用作	件数	H26目標値	1,400件	:				件	事業の事後評価	714	余地	貝担	貢献度	の有無	の余地
	結果指標 2 28 792 00 28 057 00									年間利用者	者数	H26目標値	31,000,	\				人	評価	妥当	無	余地有	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る

事後評価備考

事様式

栃木市事務事業評価表

平成26年度

	_	様式 1							144	3 1 1 1 1 2	3 - 570	, 3 - > C 1	.'-	_							T /JX, 2	. 0 千皮	
会	計	一般	款項目 100	402 予算事業コード	5631	102	事業区分	01 経常的	的事業 新	規 / その	他 2	その他				į	基本於	施策			単位	施策	
事	Ě名	大平公民館	官管理運営費										主	5201	生涯学習の	充実	?			生涯学習	環境の充乳	実	
担係・	当部誤 担当	₹ チーム名	教育委員会	大平教育支 大平	公民館	館チ-	- Д		担当者	松本文	男		従										
事	美の性	2 自	治事務	艮拠法令等											事業期間				9 年度	全体事第 (人件費		260,	000 千円
事業の概要	(事 公E 公E	業完了(事業 民館管理業 民館貸出事 主要事業】	期間のない事業は 務 務	☑成31年度)までは	こ、誰(^	何)を、	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象、手	段の記入)		達成目標	業完了民館の	(事業期) 管理及	間のない事業は なび貸館業務	で成る	3 1年原	度)の目標)			·		
女											┙┞			» <u> </u>		. =		13 - 5 -	-	7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
単	位:	千円、人	平成25年度決算	額 平成26年度決算	見込							施果			'シストネッ &利用者数			平成.29年	度で4.800	回(現状値	4,344回) 4人)		
		国庫支出金		0	0				亚式	; 2 5 年)		標								2 6 年度			
		県支出金							r =	■ 世	⊕ I												
	事	地方債		0	重営及(び団グ	体・サ- 羽を#3	- ク * オ		大	子公子の	民館	官施設の	の管理道	運営及び	「団体・ 学習を	サーク						
事	業											白色排版	± 9		る。			けいが百ん	ш で 凶",	7、土涯	子白で	推進 9	
事業費・		一般財源	21,03	35 20,	787	谷 そ	・利用件	数 2,1	173件						• 和	成果 利用 1	件数	女 2,1	87件				
指標		事業費 a	22,95	51 22,	444	の成果	・利用者	後以 36 ,	,163人						• 4	可用	者数	X 36,	442人				
の推	人作		7,50	00 7,	500	果 																	
移	減値	面償却費 c			0	Ш																	
	総事	事業費 a+b+c	30,45	51 29,	944		指標名				貿	出方法			単	单位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
30,431 29,344 利用者数 人数 H26目標値:36 36,163.00 36,442.00										標値:36,0	入000人					人	事業の事後評価	女コ圧	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2 2,173.00 2,187.00 利用件数 件数 H26目標値:2										標値:2,50	00件					件	評価	妥当	有	適正	有効	無	無
事業改善計画	地:		その効果を具体的 した公民館	^{]に記入)} を目標に公E	民館(の施	設の管理と	貸館業務		こ努め	3 。												

事

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_=	_	様式 1								1	I#J * I	- 1117	- 323	 									十八人	0 牛皮	
会	計	一般	款項目1	00402	予算事業コー	[⊦] 563	106	事業区分	01 経常的	勺事業 新	f規 /	/ その他	<u>b</u> 2	その他				:	基本的	拖策			単位	施策	
事	業名	岩舟公民館	官管理運営費												主	5201	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	環境の充実	Ę	
	当部部 担当	果 チーム名	教育委員会	岩舟教	数育支 生	涯学習	担当	岩舟公民館チ	- 4	担当	者早	乙女	透		従										
事	業の性	質 2 自	治事務	根拠沒	去令等 社会	会教育》	去、栃	木市公民館条例	l、同施行規	則							事業期間	Н	2 6	~ H 2	9 年度	全体事業 (人件費		45,	045 千円
事業の概要	(事)	議完了(事業 公民館管理 公民館貸出 主要事業】	業務	は平成 3	1年度)ま	ごに、誰	(何)を	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象、	手段の)記入)		達した名	、民館	宮の管理	間のない事業温及び貸館	業務の)充実						
単	位: T	千円、人	平成25年度決	算額 平	成26年度決	算見込							ţ,	施果 策目 社			′シストネ 战利用者数.			平成29年	度で4.800	5動回数 回(現状値 状値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金								平月		5 年度	<u> </u> [標							 平成	2 6 年度			
		県支出金															1	事業	 (内	——— 字】					
	事業	地方債									岩舟	·公E	民館施訂	殳の管理 単加を図	関連営及 図り、生	び団体 涯学習:	・サー を推進								
事	費	手 ^{12.7} [頃 業 の 内 字 で															す	る。				3 7 、	/注丁日	C 1E/C	
業費・		一般財源																成果利用	件数	汝	995件				
指標	事業費 a 14,322 の 成																'	利用	1者第	汉 16,	969人				
がの推	人作	牛費 b			12	2,750	果																		
移	±																								
	総事業費 a+b+c 27,072 指標名												算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	_上位	類似事業	成果向上
	結果指標 1									数 1	1,400件						件	事業の事後評価	ДЭЦ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結果指標 2 利用者数 年間利用者数 16,0									16,000人						人	評価	妥当	無	適正	有効	無	無		
事業改善計画	•		その効果を具体 とざした公			公民	館の)管理と貸館	業務の推	主進に努	多め た	た。													

事 ### 1

栃木市事務事業評価表

平成26年度

	, -	依式 I																		1 12% =	- 0 +152	
会	計	一般	款項目 10	0402 予算事	事業コード 563	301	事業区分	01 経常	的事業	新規/その他	2 その(b				基本的	施策			単位	ī施策	
事業	Ě名	大宮公民	能管理運営費									主	5201	生涯学習	の充刻	Ę			生涯学習	環境の充	実	
担注係・	当部部 担当	果 チーム名	教育委員会	生涯学習記	课 大宮公民	館担	当 大宮公民館	チーム	担当	当者 小島佳栄		従										
事業		- 1 1					东木市公民館条件							事業期間	·	1 8		9 年度	全体事 (人件費		125,	272 千円
事業の概要	(事 ・ / ・ / ・ /	業完了(事 公民館施 主民票交 各種団体 主要事業	議期間のない事業に 設の適切な管理 付等出張所業務 の支援を行う。 】	4平成31年版 2運営を行 3を行う	g)までに、誰 う。	(何)を	、どういう方法で	どうしたい	のか。対象、	手段の記入)	達成目標	事業完立 生涯 各種[了(事業期 学習の増 団体の自	間のない事態 曽進と大宮 目主的な運	機は平成 地区の 営を打	3 1年 D活性 推進す	度)の目標) 化。 る。			·		·
単 [·]	位:	千円、人 I	平成25年度決算	算額 平成26	年度決算見込						成 施果 策目	とち 社会	ぎ未来ア 教育施設	プシストネ み利用者数	·ット !平 _原	事業の t29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間) 度で4,800 000人(現料	舌動回数)回(現状値 状値715,62	(4,344回) (4人)		
		国庫支出会	È	 成 2 5 年度	信							平成		<u> </u>								
		県支出金	金							 წთ[内容】											
	事業	地方債		関連営を行い ■により生派	1、団体 ₹学習を	・ 技 推 指	├ È	ナ	宮と	沒足	官施設の	の管理道	■営を行 こより生	い、団	体・サ を推進							
事	費	その他特別	d ,	984	948	の内容	する。	. 02 4.3713			I) H C	111.75	=	す	「る。 【成昇		ינו ונייף כי		- G 7 <u>-</u>	-#	ڪ بلديڪ	
事業費・		一般財源	10,5	397	10,696	合	• 禾	川用件数	Į	1,31	8件			'	•	利用	用件数	_	1,5	3 7 件		
指標		事業費	a 11,5	381	11,644	の成	· 木	川用者数	(21,69	3人				•	机	用者数	2	3, 2	0 2人		
(元)																						
移 減価償却費 c																						
総事業費 a+b+c 26,381 26,644 指標名										算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者		類似事業	成果向上	
	結果指標 1 1,318.00 1,537.00 利用件数 H26目標值1,700件 年間利用件数									件数					件	事業の事後評価	ᄷᆿᅜ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2								者数	_				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有		

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。

事業改善計画

平成26年度

_		依式	l .																	1 7-20 =	0 +152	
会	計	一般	款項目1	00402 ₹	⁵ 算事業コード 563	401	事業区分	01 経常的	的事業 新	規/その他	2 その他					基本的	施策			単位	施策	
事美	《名	皆川公E	民館管理運営費									主	5201	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	環境の充実	Ę	
担主係・	当部部 担当	果 チーム名	教育委員会	生涯学	習課 公民館担	当盲	皆川公民館チーク	4	担当者	高田佐智代	<u>.</u>	従										
事業			自治事務				木市公民館条例							事業期間	∄ Н	1 8	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費		95,	992 千円
事業の概要	(事 ・ / ・ / ・ /	業完了() 公民完館施 主民無受 主要事業	設の適切な管 付等出張所業 の支援を行う	^{試平成31} 理運営を 務を行う。	^{年度)} までに、誰 行う。 。	(何)を、	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象、手	段の記入)	達成目標	生涯等各種的	了(事業期 学習の推 団体の自	間のない事業 進と共に 主的な運	^{镁は平成} 、公 営を推	3 1年 見館の ま進す	度)の目標) 利用を増 る。	加させる。		·		
単位	位:	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成25年度法	中算額 平成	成26年度決算見込						成 施果 策目	とちる 社会教	ぎ未来ア 数育施設	'シストネ と利用者数	ット事平成	事業の t29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間注 度で4,800 000人(現4	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
国庫支出金 0 0 平 県支出金 0 0 【事業の内容】											慌							平成	 え26年度			
		県支出	金	0	0								 ÉのF	内容】								
	事業費	地方債		0	0	の管理選	■営及び団)、生涯等	団体・サ と翌を推	ーク 准す	, -	崔	川么	民能	館施設の	の管理道	■営及び)、生涯	団体・	サーク 唯谁す				
事	費	その他特	財	445	512	の内容	んぱん る。 【成果】	/ IJ V Z Z EI /	лед.)、 <i>土//</i> 主·	- H C 1F	·= /		る	。 成果		11022-11	нед.	, <u> </u>	. T 🗖 C .		
事業費・		一般財源	原 7	,196	7,151	台そ	Ⅰ・利用	件数	5 5 2 件	‡ 				'	• 利	川用作	牛数:	88件	‡			
指標		事業費	a 7	,641	7,663	の成	・利用 	百 数	15,	7 3 1人					• 不	川用す	者数	15,4	192人			
(元) (元) 大件費 b 15,000 15,000 果																						
移 減価償却費 c 0																						
総事業費 a+b+c 22.641 22.663 指標名										算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位 貢献度	類似事業 の有無	成果向上	
									年間利用件数	数 * H26目標	直560件				件	事業の事後評価	XJI	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結系	果指標 2	15,73	1.00	15,492.00	利用者	当数		年間利用者数	数 * H26目標	[値16,000人				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

・公民館業務や地区行事などを公民館だよりへ掲載したり、館内に掲示することで、地域住民への広報活動を充実させた。

事後評価備考

平成26年度

		1水工() 1												_									
会	計	一般	款項目 1004	402 予算事業コード 56	3501	事業区分	01 経常	的事業	新規/	/ その他	2 7	の他					基本的	拖策			単位	施策	
事	《名	吹上公民的	館管理運営費										主	5201	生涯学習の	の充実	Ę			生涯学習	環境の充実	実	
担係・	当部部 担当	₹ チーム名	教育委員会 生	涯学習課 吹上公	民館担	担当 吹上公民館	チーム	担当	当者 魚	熊谷充晴			従										
事		質 2 自		拠法令等社会教育											事業期間	1	1 8		9 年度	全体事 (人件費		89,	438 千円
事業の概要	· 亿· 信	業完了(事業公民館施設主民票交付各種団体の主要事業)	∦期間のない事業は平 役の適切な管理追 け等出張所業務を ○支援を行う。	成 3 1年度) までに、 直営を行う - 行う。	誰(何)	を、どういう方法で、	どうしたいの	のか。対象、	、手段の	の記入)	達成目標	事業・各地・地	完了 涯学 種 理 球 類 類 類 類 類 類 類 表 表 表 表 表 表 表 の 表 の 表 の も の ま の ま の ま の も の も の も の も の も の も	(事業期 習の推]体の自 提題の解	間のない事業 進ととも1 主的な運輸 決を支援で	^{は平成} こ、 2 営を指 する。	3 1年 公民館 達進す	^{度)の目標)} の利用を る。	増加させる	3.	·		
単	位:	千円、人	平成25年度決算額	額 平成26年度決算見返			成 施果 策目	社	ちき 会教	未来ア マ育施設	ンストネッ 利用者数.	ット事 平成	■業の t29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間注 度で4,800 000人(現4	舌動回数)回(現状値 状値715,62	4,344回) 4人)						
		国庫支出金			平		5 年度	作示	<u> </u>							平成		<u> </u>					
型型 0 0 平成 平成 平成 「事業の内容】															1	事業	 (の)	内容】					
											団体・ 対容を	サー 推進	-ク ŧす		吹	上包	注	官施設(の管理道 川を図し	重営及び 1 生涯	団体・ 学習を	サーク 堆准す	
事										工//王)		- JIL X	= /		る	0		11 02-11	исы.) ,// <u></u>			
事業費・		一般財源	7,12	6 6,213	11	・利用]件数				9 6 9					成果・利	田田	牛数			9 2 8	件	
指標		事業費 a	7,51	0 6,649	Πσ.	אווייי ס	者数			16,1	1 5 5	人				• 木	J用和 臨	· 皆数 寺業務。	員賃金(15, 半日)、	5 1 5 公用車 務委託	人 燃料、	
標 の 人件費 b 推																	電気	気料、 放子 においる こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう ひょうしょう ひょうしょう ひょう ひょう ひょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	を設維す 也借上*	寺管理業 ³	務委託	料、	
8 減価償却費 c 0 0 0																		-	014	'			
総事業費 a+b+c 30,010 29,149 指標名										算出方	法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上	
										H26目標値	1,0001	牛				件	事業の事後評価	Д	余地	貝担	貢献度	の有無	の余地
	結則	果指標 2	16 155 0	用者数		年間利用	者数	H26目標値	17,000)人				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有		

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・公民館業務、出張所業務については、公民館だより等で地域住民に広報し利用拡大を図る ・各種団体の自主運営意識の強化を図る

事後評価備考

事 ### 1

栃木市事務事業評価表

平成26年度

		惊エ し																		1 /-22 =	- 0 +152	
会	計	一般	款項目 100)402 予算事	事業コード 563	601	事業区分	01 経常	的事業 新規/その	他	2 その他					基本的	施策			単位	施策	
事業	Ě名	寺尾公民	館管理運営費									主	5201	生涯学習	の充写	Ę			生涯学習	環境の充乳	実	
担 係•	当部説 担当	果 チーム名	教育委員会	生涯学習誤	果 寺尾公民	館担	当 寺尾公民館	チーム	担当者 江面 名	奈々		従										
事業		達質 2 自					木市公民館条例·							事業期間	Н	1 8	~ H 2	9 年度	全体事 (人件費		92,	826 千円
事業の概要	(事 ・ / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	業完了(事) 公民館施記 主民票交付 各種団体の 主要事業】	業期間のない事業は 役の適正な管理 対等支所業務を∙)支援をする。	^{平成31年度} 運営を行う 行う。	<u>を</u>) までに、誰 う。	(何)を	、どういう方法で、	どうしたい	のか。対象、手段の記入)		達	主涯的 各種医	で 事業期 学習の推 団体の自 習環境の	間のない事業 達と共に 目主的な運)充実	は平成 、公目 営を推	3 1年 民館の 佳進す	^{度)の目標)} 利用を増 る。	加させる。		·		·
単 [·]	位:	千円、人	平成25年度決算	重額 平成26年	年度決算見込						成	とちき 社会教	ぎ未来ア 数育施設	'シストネ &利用者数	ット事 …平原	事業の t29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間注 度で4,800 000人(現4	舌動回数)回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 【事業の内容】										 度								平成	 t 2 6 年度	<u> </u>		
	県支出金 0 0 1 事業の内容】														事業	 \{\delta\}	内容】	5尾公民	光館施設	の管理	 運営を	
	Table Ta										い、団	体・ を拍	Ē	行	īll,	団化	本・サ- を推進す	−クル領	手の利用	の促進	により	
事	費	その他特財		55	122	の内容		, (3, 02 d.)	MORECO	У <u>Т</u>	-//エフロ	C) µ	-		成果	₹】		<i>,</i> 0°		2 5	o //±	
事業費・		一般財源	6,6	73	15,586	合って	・利	用件数			2 7 5				•	利用	用件数 用者数		7	25 , 20		
指標		事業費 る	6,7	28	15,708	の成	・利 	用者数	•	6,	471	人			•	F	な支出 福時業種	务員賃金	6(1名	i)、電	気料、	
がの推	人作	井費 b	15,0	00	15,000	果										方	施設維打 寺屋のF	寺管理委 民館改修	美託料、 多工事費	}.		
8 減価償却費 c 0 0 0															Ē	自治公	民館建築	養等補	助金			
総事業費 a+b+c 21,728 30,708 指標名									į	算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上	
	結果指標 1 275.00 252.00 利用件数 30件×12月=360件 H:										標値 360件				件	事業の事後評価	女当住	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結果指標 2 6 471 00 7 202 00 利用者数 33人								33人×360件 12,000人	人 H2	26目標値 12	,000			人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体と協働で、より良い公民館活動ができるよう努める。

事後評価備考

栃太市車務**車**業郭価夷

立成 2.6 年度

		様式 1								1473 -	14.15.31	373	3 · >KH I		_							T11X 2	0 千皮	
会	計	一般	款項目1	00402 予	算事業コード 563	701	事業区分	01 経常的	的事業	新規	/ その他	2	その他					基本的	 色策			単位	施策	
事業	【名	国府公民	館管理運営費	ł										主	5201	生涯学習	の充詞	Ē			生涯学習	環境の充実	Ę	
担法係・	当部部 担当	果 チーム名	教育委員会	生涯学習	習課 公民館担	当 [国府公民館チーク	ل	担	当者	福田智世			従										
事業		謹質 2					木市公民館条例									事業期間	1		~ H 2		全体事		64.	970 千円
事業の概要	(事 ・ / ・ / ・ /	業完了(事公民館施設 注民票交付 各種団体(主要事業)	設の適切な管理 付等支所業務を の支援をする。	は平成31: 理運営を を行う。	^{年度}) までに、誰 行う。	(何)を、	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象	、手段(の記入)		達成目標	業完了 注注学 注種団 記域部	(事業期 学習の推 団体の自 課題の解	^{間のない事業} 進と共に I主的な運 P決を支援	は平成、公民営を対する。	3 1年度 発館の 主進す	^{度)の目標)} 利用を増 る。	加させる。		·		·
単 [·]	立: I	千円、人 I	平成25年度決	発額 平成	26年度決算見込							所分	成 と を 表	: ちき : 会教	デ未来ア 対育施設	ンストネ 対用者数	ット 乳 …平万	事業の は29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間消度で4,800 000人(現場	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	Ž	0	0				ম	☑成 2	5 年度		1示							平成	2 6 年度	 [
		県支出会	È	0	0		【事業の	内容】									事業	 ● の F	内容】					
					0	事業	【事業の 国府公 クル等の	民館施	設の管 増加す	き理道 を図し	運営及で 13 生活	び団	団体・サ と習を対	ナー ^{生谁}		7	国府	ひし	民館施記 引用のt	殳の管理 曽加を図	里運営及 図り、生	び団体 涯学習:	・サー を推進	
事	費	その他特則	đ	468	678	の内容	する。 【成果】	.1.7717.02	для с	- 1-4	У \			-~=	•	す	る。成果		1711000	A	4 7 \ _	.//	C1#X	
事業費・		一般財源	5	,709	7,033	 合	┃ ・利用	件数					5 5 件			\	• 禾	川用化	牛数			8 6 6	件	
指煙	· 指 標 					の成	・利用	者奴		•	19,	8 6	4人				・木	川用			20,	5 2 3 .	人	
の	の 推 <u>22,500</u> <u>22,500</u>					巢																		
移 減価償却費 c 0																								
総事業費 a+b+c 28.677 30.211 指標名									算上	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上			
	結果	果指標1	955	5.00	866.00	牛数		年間利用	件数	(H26目標化	直:1	,000件)				件	事業の事後評価	XJI	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結果指標 2							(H26目標化	直:2	0,000人)				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有			

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・支所業務、公民館業務については、公民館だよりで地域住民に広報し、利用拡大を図る。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。

事業改善計画

車

近太古事教事娄瓡価事

Ξ	H	様式 1									111.		刀 =	于未们	ТЩ	1X							半风 4	26年度	
会	計	一般	款項目10	0401	予算事業コード	564	103	事業区分	01 糸	圣常的事業	新規	見/その他	2	その他					基本的	拖策			単位	ī施策	
事美	能名	藤岡都賀集	会所管理費												主	5201	生涯学習	の充実	€			生涯学習	環境の充	実	
担急係・	当部部 担当	果 チーム名	生活環境部	人権	・男女 人村	を推進	担当	大平隣保館チ・	- ム	j	担当者	渡辺由夫			従										
事美	美の性				去令等 栃木												事業期間			~ H3	1 年度	全体事業 (人件費)		6,	446 千円
事業の	施施	設の管理 設の維持補		は平成3	1年度)まで	に、誰	(何)を	、どういう方法で、	どうし†	たいのか。対	象、手	段の記入)	:	達 市民 経費	が付	快適に使	^{間のない事業} 用できる けを行う	ようが	3 1年 通設の	度)の目標) 管理及び	維持補修る	±行う。	·		
の概要		主要事業】											;	信標											
単位	位:	千円、人	平成25年度決算	算額平	² 成26年度決算	算見込							所第	毎果 簑目 対	: ちき : 会教	デ未来ア 対育施設	シストネ 利用者数	ット事 …平成	■ 業業の t29年	ボランテ 平成29年 度で787,0	ィア年間消 度で4,800 000人(現4	舌動回数 回(現状値 大値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金		0		0					亚战	2 5 年度		標								 t 2 6 年度			
		県支出金		0		0		 【事業の	内容		T-13%	2 3 千皮					<u> </u>	事業	 ÉのF	 内容 】	7-13	(Z O + IQ			
	事	地方債		0		0	事業	・藤岡都	賀集	会所の	管理	及び維持	持補	#修を行	ĪÒ		-	藤田	都會	買集会戶	所の管理	₹及び維	持補修	を行う	
事	寿費	素																成果		丰度実終	書				
事業費・		Part												▽+伝						+ 及 天 A		50人			
指標		# a 509 415 C 加												ζ授 Σ換											
の推	人作	牛費 b	1,	500		750	果 																		
移		面償却費 c				0															ı				
	総	事業費 a+b+c	2,0	009	1.	165		指標名					算上	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結果指標 1 2,009 1,165 執行率 決算額÷予算額 H26E 90.65 79.04											「額 H26目標値	[10	00%				%	事業の事後評価	i I	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結	90.65 79.04 科指標 2 0 利用者数 利用者数 H26目標 698.00 650.00																人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有
事業改善計画	効		その効果を具体 が行をし、糸			める	o																		

事機

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_=	_	様式 1									1473	* * - 3	- 073	7 7 11	11111	~							十11九 2	0 牛皮	
会	計	一般	款項目 100	0401 ₹	予算事業コード 5	56420	03	事業区分	01 経	常的事業	新規	見/その他	2	その他					基本的	拖策			単位	施策	
事	Ě名	藤岡富吉集	会所管理費												主	5201	生涯学習	の充実	E			生涯学習	環境の充	実	
担係・	当部誤 担当	₹ チーム名	生活環境部	人権・5	男女 人権技	佳進 担	旦当 大	マ隣保館チ	-A	ž .	旦当者	渡辺由夫			従										
事	美の性	達質 2 自	治事務	根拠法令	令等 栃木市	集会	所条例										事業期間	1		~ H 3	1 年度	全体事業 (人件費)		10,	719 ^{千円}
事業の概要	• 方 • 方	業完了(事業施設の管理施設の維持主要事業】	期間のない事業は補修	平成 3 1	年度)までに、	、誰(何	可)を、ど	ういう方法で、	どうしたい	いのか。対値	象、手段	设の記入)		達成目標	見が快 量の適	や適に使 随性な幇	間のない事業 見用できる。 は行を行う。	よう施 , 	i設の 	管理及び			·	-	
単	位:	千円、人	平成25年度決算	額 平成	成26年度決算見	赵								施果			'シストネ と利用者数.			平成29年	隻で4.800	5動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金		0		ا ا				:	平成 2	2 5 年度		標							•	2 6 年度	•		
		県支出金		0		0	_	【事業の]							I	事業	の 「	 内容 】					
	事業費	地方債		0		0	事業	・藤岡富	吉集?	会所の	管理	!及び維	持衫	補修を行	うう			藤岡]富	吉集会所	斤の管理	፟፟፟፟፟፟፟፟【及び維	持補修	を行う	
事	業																	成果		丰度実績	書				
業費・	Text											5人						利	用	 	9回 6	98人 バッテリ	六倍		
指標	事業費 a 476 448 の 成																	紀日	: 1寸1	三角 1	6号入]/	いツテリ	一文揆		
の推	1,500 750																								
移	多 減価償却費 c																								
	総事	F業費 a+b+c	1,9	76	1,19	98		指標名					算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位	類似事業	成果向上
	結果指標 1 執行率 決算額÷予算額 H26 76.88 74.21										額 H26目標	標値	100%				%	事業の事後評価	ХПH	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結果指標 2 利用者数 利用者数 利用者数 H26目標值										6目標値 8	50人					人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有	
事業改善計画		(改善内容とその効果を具体的に記入) 力率的な執行をし、経費削減に努める。																							

事 ###

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_		依式 I																			1 /2/2 =	0 +152	
会	計	一般	款項目 1004	02 予算事業コード 56	4303	3	事業区分	01 経常	的事業	新規 / その	他	2 その他					基本	施策			単位	施策	
事業	《名	藤岡公民館	館管理運営費										主	5201	生涯学習	の充乳	Ę			生涯学習	環境の充乳	実	
担 係•	当部部 担当	果 チーム名	教育委員会 藤	岡教育支 生涯学	習担	当	藤岡公民館チー	- L	担	当者 阿部多	佳子		従										
事業	美の性	達質 2 自	治事務 根	拠法令等社会教育	法、	栃フ	木市公民館条例	」、同施行	規則						事業期間	Н	1 8	~ H 2	9 年度	全体事 (人件費		335,	000 千円
事業の概要	(事 ・肩 ・肩	藤岡公民館	^{美期間のない事業は平} 寛及び各地区公民 寛及び各地区公民	或3 1年度)までに、f 館管理業務 館貸出事務	誰(何))を、	どういう方法で、	どうしたい	のか。対象	、手段の記入)					間のない事業				を図る。		·		
単 [·]	位:	千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込								成 成	とちき 社会教	ぎ未来ア 数育施設	'シストネ }利用者数	ット …平5	事業の 比29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間) 度で4,800 000人(現料	舌動回数)回(現状値 状値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	(0	┧┌	Т			<u> </u>	P成25年	 度	徐							平成		<u> </u>		
		県支出金		0	<u> </u>	_	・各公民	館の管	理業別	 务						事業	 美内 和	 容】					
	事業	地方債	(0		事業	・各公民	館の貸	出業科	务					•	藤區]公[民館及び		公民館の 月の増加			
事	費	その他特財	1,452	942	IJ	カ 内 									学	習を 成果	E推ì	進する。	2.02.1.21	リクントロルト	(CE)).	·	
事業費・		一般財源	19,717	22,521	11	국 군									利	用作	上数	2 , (0 5 2 代	#			
指標		事業費 a	21,169	23,463] [0] 万	の一成									不! 	用者	致	3 2	, 5 6 <i>°</i>	1人			
の 推 移 人件費 b 4,500 7,500 0 水価償却費 c 0 0																							
総事業費 a+b+c 25,669 30,963 指標名									算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上			
	結果指標 1 2,295.00 2,052.00 利用件数 年間利用件数 H26目								月件数 H26目標	票値:2	2,550				件	事業の事後評価	Х – I	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	2,295.00 2,052.00 利用者数 年間利用者数 H26目 36,616.00 32,561.00							票値:4	40,000				人	評価	妥当	有	適正	有効	無	有			

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・地域住民の活動の充実が図れるよう施設の維持管理と貸館業務の推進に努めた。 ・建物の老朽化により、修繕箇所が増えてきている。修繕費の増大が今後の課題である。

事後評価備考

平成26年度

	_	1水上↓Ⅰ									_	_							- 1 /~	
Ê	計	一般	款項目 100	402 予算事業コード 5	56430	5 事業区分	01 経常的事業	≸ 新規 / その)他 2	2 その他				基	本施策			単位	施策	
事	業名	西方公民館	官管理運営費						-		主	5201	生涯学習の)充実			生涯学習	環境の充	実	
担係	当部 · 担当	 課 (チーム名	教育委員会 西	方教育支 西方名	公民館	チーム		担当者 宇賀神	昨子		従									
事	業の情	性質 2 自	治事務 相	製拠法令等 栃木市	公民館	官条例、栃木市公民	民館施行規則						事業期間	H 2	3 ~ H 2	2 9 年度	全体事 (人件費		27.	090 千円
事業の概要	旧た	■業完了(事業 和49年に 市民の生涯 め、施設の 主要事業】	期間のない事業は平 設立され、旧居 学習事業・社会 管理運営を行う	- 成3 1年度)までに 写方町の中央公民 会教育事業・公民 う。	、誰(何) 民館と 民館業別)を、どういう方法で、 して生涯学習の中 務・各種団体の育	、どうしたいのか。対 中心的役割を担う 育成等の活動環境	象、手段の記入) が施設であり 意を維持する)	達成目標	業完了 生涯学 各種団 と朽化	(事業期 学習の推 団体の自 とした施	間のない事業 進とともに 主的な活動 設を管理す	^{は平成 3 1} 、公民 かを支援 る。	^{年度)の目標} 館の利用(する。) Z進をはか	3.	·	,	
単	·位:	千円、人 T	平成25年度決算	額 平成26年度決算見	見込					成 成 表	とちき	ぎ未来ア 対育施設	′シストネッ ₹利用者数	・ト事業 .平成29	のボランラ …平成29 ^位 年度で787	ーィア年間 三度で4,800 ,000人(現	舌動回数)回(現状値 状値715,62	[4,344回) 24人)		
		国庫支出金			<u> </u>	$\overline{1}$		平成25年	 .度	175						平5	 【2 6 年度			
		県支出金			0		内容】							事業の)内容】 民館施設			s		
	事業費	地方債			0	事 西方公民	ミ館施設の管 川用の増加を	埋連宮及 図リ、生	ひ団 涯学	体・サ· 習を推i	ーク 佳す	i	西	う公と 等の≉	K館施設 J用の増	の管埋道 加を図り	重宮及ひ り、牛涯	団体・ 学習を	サーク 推進す	
事	費	その他特財		1:		の 内 る。 容			5				3				,			
業費・		一般財源		3,2	_	_ 【成果】	1. 1141.	4.0.0 111						成果 】		_	- 0.44			
指 事業費 a				3,4	110	の「殺鬼に	F数 、数 6,	423件060人					• ;	利用作 利用ノ	F数 \数	8,24	5 8件 4 7人			
の 人件費 b 推				4,5		_成 ・利用人 果 														
移	減	価償却費 c																		
					73	指標名			算	章出方法			į	单位	事 妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結	果指標1	423.0	558.0		間利用件数	件数	H 2 6 目標値	7	0 0 件				件	事 妥当性 子 子 子 子 子 子 子 子	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地
	結	果指標 2	6 060 0		年	間利用人数	人数	H 2 6 目標値	8	,000人					至 妥当	無	余地有	有効	有	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・利用者が快適に施設を利用できるよう、計画的な空調設備の改修を予定し、今年度おいても計画どおり改修を実施することができた。 ・今後は、課題である床の全面張替や照明器具の改修においても計画的に改修に努めると共に、公民館事業や生涯学習に繋がる事業を充実させ、公民館利用者の増に繋げて行きたい。

栃木市事務事業評価表

平成26年度

•	•	依エ\																				1 /2/2 =	0 T/32	
숲	計	一般	款項目10	0402	予算事業コード 5	6500)4	事業区分	01 経常	的事業新	規 / そ	·の他 2	2 その他	!				基本的	施策			単位	施策	
事	業名	都賀公民館	官管理運営費											主	5201	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	環境の充乳	実	
担係	当部記 担当	果 チーム名	教育委員会	都賀教	7育支 都賀2	公民館	チー	۲.		担当者	田嶋	律子		従										
事	業の性	性質 2 自	治事務	根拠法	令等 社会教	育法、	・栃オ	木市公民館条例	引、同施行規	規則	•					事業期間	∄ H	1 8	~ H 2	9 年度	全体事		155.	292 千円
事業の概要	(事 施 【 <u>.</u>	議党(事業 設の管理運 主要事業】	^{期間のない事業に} 営を行い、学	は平成 3 1 - 習・文	1年度) までに、 文化活動の場	誰(何	^{可)を、} :供す	どういう方法で、 る	どうしたいの	のか。対象、手	段の記 <i>)</i>	()	達成目標	涯学i	習の増進	間のない事態と共に公	、民館の)利用	を増加さ	せる。 		•		
単	位:	千円、人	平成25年度決算	算額 平原	成26年度決算見	込							施果 策目						平成29年	ィア年間) 度で4,800 000人(現料	舌動回数)回(現状値 伏値715,62	[4,344回) [4人)		
		国庫支出金		0		٦	Т			平成	2 5 £	年度	標							平点		.		
		県支出金		0		0	_	【事業の	内容】								【事業	 (の)	 内容】	1 7-2	W = 0 173			
	事業費	地方債		0			事業	都賀公民	館施設	の管理道	三営 万	ひび団	体・サ翌を推	ー ク 准 す	, -	者	『賀么	民館	官施設の		■ 営及び)、生涯			
事	Table Ta											<i>∟″</i> ± '	H G 1E	<u> </u>		3	5		ロマントロル	исы,), <u> </u>	тнс	JEVE 9	
業費・																•	【成果 利用	件数	数 1,2	90件				
指標																•	都賀	公臣	效 20, 民館駐輔	扁場設置	置工事	745千円	3	
がの推	人件費 b 2,250 果															•	都賀	[公E	民館1階	西側ト	ーー イレ改(多費補助	修工事4	43千円	
移	落 減価償却費 c																							
	総事業費 a+b+c 13,540 15,299 指標名									拿	算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業			
	結果指標 1 959.00 1,290.00 利用件数 年間利用件数									H26目標	値: 870				件	事業の事後評価	V J I	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地		
	結果指標 2 16,969.00 20,935.00 利用者数 年間利用者数 H										H26目標	値:19,150				人	評価	妥当	無	余地有	有効	無	有	
事業改善計画	公公	16,969.00 20,935.00 (改善内容とその効果を具体的に記入) 公民館事業が円滑に推進するよう、施設の維持管理をする。																						

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_	_	禄式 1					1473	· · · · · 3 · · 0	/J -	1 111 11							T11X 2		
会	計	一般	款項目 10040)1 予算事業コード 566	402	事業区分 01 経常	的事業 新規	1/その他	2 その他	2			基本	施策			単位	施策	
事業	《名	大平榎本第	会所管理費							主 52	:01	生涯学習の充乳	Ę			生涯学習	環境の充実	Ę	
	当部誤 担当	果 チーム名	生活環境部 人棒	権・男女 人権推進	担当	大平隣保館チーム	担当者	渡辺由夫		従									
事業	美の性	1 1		処法令等 栃木市集会								事業期間 H	1 7	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費)		12,	233 千円
事業の概要	集合の約	議院了(事業 会所事業を めの経常的 経常的な事 主要事業】	期間のない事業は平成 円滑に実施する7 な事業。管理人 業。改修工事・(131年度) までに、誰 ために、適正かつ ・施設用消耗品・ 修繕工事・備品な	^{(何)を、} 効果的 効果的 施設の どの	、どういう方法で、どうしたい 内に行う事業。榎本集会 D安全管理費等。施設を 推持管理。	^{Dか。対象、手段} 所事業を実施 維持管理する	役の記入) 他する るため	達成目標	本集会所	が適]	間のない事業は平成 正に維持管理で	され 、	市民が安	全で快適に		ことができ		
単	位:	千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込					施果 策目			シストネット 利用者数…平6		.平成29年	度で4.800	回(現状値	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	0	0	П		 平成 2	 2 5年度	標							2 6 年度			
		県支出金	0	0		【事業の内容】		7 - 004	- >-1: /	<i>,</i> – ~				内容】			. 1 + 3 + 1 / 6 /	<u> </u>	
	事業費	地方債	0	0	事業の	│・大平榎本集会 │。	所の官埋ん	及ひ維持	f 伸修を	行つ				本集会 <i>F</i>	外の官場	単及び維	持補修	を行つ	
事業	費	その他特財	5	4	内容	【成果】 ・平成25年度実					【成男・平原		年度実績						
業費・		一般財源	625	442	- そ		,234人 根修繕				1	引用:	者数 1		1,619人				
指標		事業費 a	630	446	(在) 寸 (多) (古	後	Ĺ			, m	±11		の守りさ	C1 X					
が推	人作	‡費 b	750	750															
移		面償却費 c							_		1								
	総事業費 a+b+c 1,380 1,196 指標名											単位	事業	 妥当性	コスト 削減の	受益者	_上位_	類似事業	成果向上
	結果指標 1 98.22 92.17 予算執行率 決算額÷予算額 H26目											%	業の事後	X J II	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結	果指標 2	2,234.00	1,619.00	数 H26目標値	2,350人			人	後評価	妥当	有	適正	有効	無	有			
事業改善計画			その効果を具体的に を維持管理す	- ^{記入)} ⁻ るうえで必要	な事	禁である。													

事機式

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_	_	棣式 1						147-3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	75 J - 214 H								T-13X 2		
会	計	一般	款項目 10040)1 予算事業コード 566	5502	事業区分	01 経常	的事業 新規	見/その他	2 その他				基本	x施策			単位	拉施策	
事第	(名	大平伯仲第	長会所管理費								主	5201	生涯学習の	充実			生涯学習	環境の充	実	
担当係・	部課 担当	₹ チーム名	生活環境部 人格	権・男女 人権推進	担当	大平隣保館チー	- L	担当者	渡辺由夫		従									
事第		賃 2 自		処法令等 栃木市集									事業期間	H 1 7	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費		7,	999 千円
事業の概要		業完了(事業 会所事業を かの経常的 経常的な事 主要事業】	期間のない事業は平成 円滑に実施する/ な事業。管理人 業。改修工事・何	13 1年度) までに、誰 ために、適正かつ ・施設用消耗品・ 修繕工事・備品な	i(何)を 効果 施設 どの	、どういう方法で、 的に行う事業。 の安全管理費等 維持管理。	どうしたいの 伯仲集会 。施設を 。	のか。対象、手段 所事業を実施 維持管理する	段の記入) 施する るため	達成目標	業完了 中 集 会	了(事業期 会所 <i>が</i> 適	間のない事業は 頭正に維持管	^{平成31:} 理され、	年度)の目標 市民が安	全で快適に	こ使用する	ことができ		·
単位	立:	千円、人 I	平成25年度決算額	平成26年度決算見込						┃施果┃			'シストネッ 8利用者数		平成29年	度で4,800	回(現状値			
		国庫支出金	0	0				平成	2 5 年度	1ਨ						平成	 t 2 6 年度	<u> </u>		
		県支出金	0	0	_	【事業の	内容】						【事	 業の	内容】					
	事業費	地方債	0	0	 事業 の	・大平伯 .	仲集会	所の管理	及び維持	詩補修を	うう)	• †	マイ	仲集会	折の管理	里及び維	持補修	を行う	
事	費	その他特財	3	3		【成果】 ・平成25	年产宝	结						果】	3年度実績	结				
事業費・		一般財源	623	457	^ロ そ		者数	94回 91	13人					利用	者数 8	33回 7	62人			
指標		事業費 a	626	460	の 成果		11字語	トタン屋 非常警報	低修繕 装置設置	Ī				AE 扩	111多倍 音	誘導灯る	C f突			
の推	人作	‡費 b	750	750	果 															
移	減化	面償却費 c							•			•	1							
	総事	事業費 a+b+c	1,376	1,210		指標名				算出方法			単	·位 第 0	≨ ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト 削減の	受益者	上位		成果向上
	結身	果指標1	97.31	額 H26目標値	100%			Q	,119	3 I	余地	負担	貢献度	の有無	の余地					
	結身	果指標 2	913.00	93.40	利用	者数		利用者のべ人	数 H26目標値	1,000人			,	%	妥当	有	適正	有効	無	有
事業改善計画			その効果を具体的に 「を維持管理す	^{記入)} ⁻ るうえで必要	を	事業である。														

事様式

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_=	_	棣式 1						147-	3 1 1 1 2 3 1 0	77 J- 7K)									T /JX, 2	. 0 千皮	
会	計	一般	款項目 1004	01 予算事業コード 56	6602	事業区分	01 経常的	事業新規	見 / その他	2 その他	b			基	基本於	拖策			単位	施策	
事美	(名	大平真弓第	長会所管理費								主	5201	生涯学習の	充実	?			生涯学習	環境の充乳	実	
担≌	当部課 担当	₹ チーム名	生活環境部 人	権・男女 人権推済	進担当	á 大平隣保館チ	- Д	担当者	渡辺由夫		従										
事業		賃 2 自	I .	拠法令等 栃木市集									事業期間	H 1	1 7	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費		9,	144 ^{千円}
事業の概要		業完了(事業会所事業を 会所事業を かの経常的 経常的な事 主要事業】	^{期間のない事業は平成 円滑に実施する な事業。管理人 業。改修工事・}	成31年度)までに、意 ために、適正かつ ・施設用消耗品・ 修繕工事・備品な	^{誰(何)} ? O効果 ・施設 などの	を、どういう方法で、 別的に行う事業。 の安全管理費等 維持管理。	どうしたいのか 真弓集会所 。施設を維持	。対象、手 事業を実 持管理す	段の記入) 施する るため	達成目標	事業完	了(事業期 会所が通	間のない事業は 動正に維持管	理さ	3 1年! れ 、	度)の目標) 市民が安	全で快適に	こ使用する	ことができ		·
単位	位:	千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込						成 施果 策目			プシストネッ 8利用者数			平成29年	度で4,800	回(現状値	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	C	0				平成	2 5 年度	標							平点	 t 2 6 年度			
		県支出金	С	0		 【事業の	内容】	1 75%	23112					事業	のア	 内容 】	1 192		-		
	事業	地方債 その他特財	C	0	事業	・大平真	弓集会所	の管理	捏及び維持	持補修を	行う	5	• • •	大平	真	集会所	所の管理	₹及び維	持補修	を行う	
事	費	その他特財	1	1)。 【成果】 ・平成25						龙果		F度実約	丰							
事業費・		一般財源	613	455	2,567人					利	用者	旨数 1	96回	1,901人							
指標		事業費 a	614	456	表 計修繕 服装置設置	1				紬	才可们	多繕	秀導灯る	くが							
の推	人作	‡費 b	750	750	集 	=															
移	減個	面償却費 c		0	L									_							
	総事	事業費 a+b+c	1,364	1,206		指標名				算出方法			単	单位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	
1.364 1.206														%	事業の事後評価	хац	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結身	果指標 2	2,567.00	、数 H26目標値	3,100人				人	評価	妥当	有	適正	有効	無	有					
事業改善計画			その効果を具体的 を維持管理 で	^{に記人)} するうえで必要	事業である。																

事機式

栃木市事務事業評価表

平成26年度

-	,	棣式 1						1473	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J.J J - 214									1 17% 2	- 0 十皮	
会	計	一般	款項目 1004	101 予算事業コード 56	6702	2 事業区分	01 経常的	事業 新規	見/その他	2 その	他			基	本旅	施策			単位	施策	
事業	業名	大平西水代	尤集会所管理費								主	5201	生涯学習(の充実				生涯学習	環境の充	実	
	当部部 担当	果 チーム名	生活環境部 人	権・男女 人権推議	進担	当 大平隣保館チ	- Д	担当者	渡辺由夫		従										
事業	業の性	質 2 自	治事務根	拠法令等析木市集	会所	· 徐例					-		事業期間	H 1	7	~ H3	1 年度	全体事業 (人件費)		11,	779 千円
事業の概要	集: る: め:	職業完了(事業 会所事業を ための経常的 の経常的 主要事業】	^{期間のない事業は平} 円滑に実施する 円滑に実施する 的な事業。管理 事業。改修工事	成31年度)までに、『 ために、適正かご 人・施設用消耗品 ・修繕工事・備品	^{誰(何)} D効見 引・放 品なと	を、どういう方法で、 果的に行う事業。 毎設の安全管理費 どの維持管理。	どうしたいのか 西水代集会所 養等。施設を約	。対象、手段 所事業を3 維持管理で	段の記入) 実施す するた				間のない事業 、適正に維持				安全で快道	・ 適に使用す	ることが「		·
単·	位: T	千円、人 I	平成25年度決算8	頁 平成26年度決算見込						成			′シストネッ ₹利用者数.			平成29年月	度で4.800	回(現狀値	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	(0	┦ Г			平成	2 5 年度	【示】							 平成	2 6 年度			
		県支出金	(0		፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟【事業の								事業							
	事業費	地方債	(0		事 ・大平西 ・大平西 り う。	水代集会	所の管	理及び約	佳持補低	を行	Ī	う		西乙	k代集会	会所の管	管理及び	維持補	修を行	
事	費	その他特財		2 3		∜│【放果】	5年度実績	ŀ						成果		F度実績	書				
業費・		一般財源	749	9 521	Ш	利用	1者数 34	10回 4	4,969人					利	用者	旨数 2	41回	3,135人			
指標		事業費 a	75´	1 524	110	の 成 果	F修繕 暗 非	幕張替 常警報	ī 段装置設置	鬒				糸田 :	f寸19	三角 記	秀導灯玄	くが			
の推	人作	牛費 b	750	750		 															
移	減值	画償却費 c		0	<u> </u> _														1	<u> </u>	
	総事	事業費 a+b+c	1,50	1,274		指標名				算出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	
	結	果指標1	96.63	3 91.73	章執行率	額 H26目標値	直 100%				~ I I	≖Ⅰ	女当ほ	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地			
	結	果指標 2	4,969.00	3,135.00		用者数	利	用者のべ人	数 H26目標値	鱼 4,500人				人	後評価	妥当	有	適正	有効	無	有
事業改善計画	西西		その効果を具体的 :所を維持管]	^{に記人)} 理するうえで』	必要	な事業である) ₀														

事機式

栃木市事務事業評価表

平成26年度

_	_	棣式 1						1471	3111115 313	75 J - 214 H								1 /3% 2	2 0 千皮	
会	計	一般	款項目 10040)1 予算事業コード 566	802	事業区分	01 経常	的事業新規	規/その他	2 その他	!			基本	上施策			単位	拉施策	
事第	《名	大平富田第	長会所管理費								主	5201	生涯学習の	充実			生涯学習	環境の充	実	
	当部誤 担当	₹ チーム名	生活環境部 人格	権・男女 人権推進	挂担当	á 大平隣保館チ	- 4	担当者	渡辺由夫		従									
事第		賃 2 自		処法令等 栃木市集									事業期間	H 1 3	7 ~ H	3 1 年度	全体事		14,	890 千円
事業の概要		業完了(事業 会所事業を かの経常的 経常的な事 主要事業】	^{期間のない事業は平成} 円滑に実施する <i>1</i> 円滑に実施する <i>1</i> な事業。管理人 業。改修工事・値	13 1年度) までに、誰 ために、適正かつ ・施設用消耗品・ 修繕工事・備品な	i(何)を 効果 施設 だの	を、どういう方法で、 別的に行う事業。 の安全管理費等 維持管理。	どうしたい(富田集会。施設を	のか。対象、手 所事業を実 維持管理す	段の記入) 施する るため	達成目標	田集名	了 (事業期 会 所 が 適	間のない事業は 可に維持管	^{t平成31} 理され	^{年度)の目} 、市民が	^{標)} 『安全で快適	に使用する	ことができ		·
単位	位:·	千円、人 I	平成25年度決算額	平成26年度決算見込						施果					平成2	アイア年間 年度で4,80 37,000人(現	0回(現状値			
		国庫支出金	0	0				———— 平成	. 2 5 年度	1赤						平月	 戊26年度			
		県支出金	0	0		【事業の	内容】								内容					
	事業費	地方債	0	0	事 業 の	・大平富	'田集会	所の管理	里及び維持	持補修を	行う	Ó	• 7	大平富	田集	会所の管理	里及び維	持補修	を行う	
事	費	その他特財	4	14		、 【成果】 ・平成25	:午度宝	结						成果】	6年度	宇结				
事業費・		一般財源	640	482	 ₇	利用	者数	486回 5	5,080人	2				利用	者数	266回	2,236人			
指標		事業費 a	644	496	の 成果) #性/寸	111多語	非吊言和	段装置設置	L				紙田大	補修	誘導灯	义授			
の推	人作	‡費 b	750	750	果 															
移		面償却費 c		0	L			<u> </u>										1		
	総事	事業費 a+b+c	1,394	1,246		指標名				算出方法			単	单位	事 登 妥当	 コスト 性 削減の	受益者	 <u>_上位</u>		成果向上
	結算	果指標1	89.66	91.05	執行率		決算額÷予算	算額 H26目標値	100%				~ III	臣	余地	負担	貢献度 	の有無	の余地	
	結身	果指標 2	5,080.00	2,236.00	利用	者数		利用者のべ人	数 H26目標値	4,500人					登	有	適正	有効	無	有
事業改善計画			その効果を具体的に 「を維持管理す	^{記入)} 「 <mark>るうえで必要</mark>	を な	事業である。														

平成26年度

		1水工('										_										
会	計	一般	款項目	100403	予算事業コード 567	'601	事業区分	01 経常的	事業	折規 / そ	の他	2 その他					基本的	施策			単位	<i>ī</i> 施策	
事為	€名	図書館	システム管理	費									主	5201	生涯学習	の充実	₹			生涯学習	環境の充	実	
担当係・	当部語 担当・	₹ チーム名	教育委員:	会 生涯学	学習課 社会教育	担当			担当	者須見	誠		従										
事業	€の性	質 2	自治事務	根拠法	法 令等										事業期間	Н	2 3	~ H 2	9 年度	全体事 (人件費		103,	871 千円
事業の概要	栃フ		館システムの		1年度) までに、誰 行う。	(何)を	、どういう方法で、	どうしたいのか	か。対象、	手段の記入	()				間のない事業 ごスの質の[·		
単位	立:	千円、人	平成25年度	決算額平	成26年度決算見込							施果 策目 ネ	とちき 社会教	ぎ未来ア 数育施設	⁷ シストネ ⁹ B利用者数.	ット事 …平成	■業の は29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間) 度で4,800 000人(現	舌動回数)回(現状値 犬値715,62	(4,344回) (4人)		
		国庫支出	金	0	0				平月		 E度	標			1				平点	 t 2 6 年度			
		県支出	金	0	0		【事業の)内容】		-20 = 0					T	事業	 ÉØΓ	 内容 】	1 7-7				
	事	地方債		0	0	事業	・図書館	のシステ	テムのサービ	ネット	ワー	ク化に	よる	•	•	図書	館(カシス?	テムのオ	トットワ スを提供	ーク化	による	
事	費	地方債	財	0	0	の内容	【成果】						т,	ı		成果	₹ 】					+ <i>y</i> *	
業									部) 区却、	科登録、予約リー	クエ] -	タ	、逐	書(の貸出	・返却、	予約リ	、利用 クエス	ト受入			
指標		事業費	a ,	4,776	11,342	の成	人下気// ・利用者	(寺の官項	里を行 生向上	った。 及びシ	ノステ	ム管理	の対]	う 統	合を	· 理》 · 行:	里呂を1 った。	すつにの	り、凶書	館シス	ナムの	
(点) (人件費 b (上)								各館	で異な	こって	いる書	誌 情	Ī										
移 減価償却費 c 0 0 0 0																							
総事業費 a+b+c 17,401 14,342 指標名									į	算出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上		
	結果指標 1 システム設置館数 5.00 6.00									置館数:	H26目標1	直 6施設				施設	事業の事後評価	Х П Г	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地
	結果指標 2 752 272 00 747 377 00 貸出点数							2	図書と視聴	覚資料の	貸出点数	7:H26目標値	755,	000点		点	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

事業改善計画 ・図書館システムの統合を図ったことで、一枚のカードで市内6館を利用でき、かつ市内の図書館で借りた資料は6館のどこの図書館でも返却できるなどの利便性の向上が図られた。 ・図書資料数の増加とともに予約・リクエストの件数も増えているため、今後も安定した機能を維持していきた

平成26年度

		依エ しし																		1 7-20 -	عرا ۱۰	
会記	it ·	一般	款項目 1004	-03 予算事業コード 567	7903	事業区分	01 経	常的事業	f規 /	/ その他	2 その他				:	基本的	拖策			単位	施策	
事業	名;	藤岡図書館	官管理運営費									主	5201	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	環境の充乳	Ę	
担当係・打	部課	! チーム名	教育委員会 生	涯学習課 社会教育	担当			担当	者 オ	大森晴美		従										
事業	の性	質 2 自	治事務 根	拠法令等 栃木市図	書館条	┊例・栃木市	図書館の管	理及び運営に	関す	る規則				事業期間	Н	1 8	~ H 2	5 年度	全体事業 (人件費		51,	456 ^{千円}
事業の概要	• 🗵			成3 1年度)までに、龍 、計画的・効果的				いのか。対象、	手段の	の記入)	達 ・	到書館		間のない事業 こスを充実					- 里を図り、	生涯学習の)機会創出(
単位	ኔ : -	千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込]						施果			'シストネ }利用者数			平成29年	度で4,800	舌動回数 回(現状値 犬値715,62			
		国庫支出金	(┌─			<u>™</u>	載っ	5 年度	標							亚 et	26年度	· •		
		県支出金	(【事業	 の内容		JX, Z	3 千皮								7-12,	(Z U + IS			
	事業	地方債			事業	・藤岡	図書館	の施設の	維持	寺及び管	理運営	を行										
		その他特財	98	3	の内	▎【成果] ************************************	+ ₩ ((= n+1	u÷h ⊑	⊒ 2 <i>4</i> 2 +	· 🕁 🗇 I	ı.										
事業費・		一般財源	5,29	1	容 そ	・窓∟ ・清掃	業務の	ため臨時 備保守業 の整理用	糊! 務!	貝3石を 委託等実	権用した	に。 										
指		事業費 a	5.392	2	の	I 入した	_															
の 推																						
公市														-	単位	車						
a+b+c 20,392 指標名											算出方法 ————	- 11	1.2 - 7.1 4.45	- 12 44	半位	事業の事	妥当性	コスト削減の	受益者 負担	上位 貢献度	類似事業 の有無	成果向上 の余地
結果指標 1 図書館サービス利用件数 貸出件数、自主事業参加 ービス件数の合計 H25 4±甲 45標 2 入館者数 年間入館者数 H25目標											レファレン 数値:53,00	スサー)件	ころ1十数	, JE-7	件	事後評価		余地				
	結果	県指標 2	28,877.0	H25目標数値	: 33,000人				人	価	妥当	有	適正	有効	無	有						
事業改善計画			その効果を具体的 効率的な施設 と者制度導入の	^{に記入)} 设の維持管理を ひため、平成20	 行い 6年度	\ながら、 をから図書	地域の図 館管理選	図書館とし 運営委託事	/て 第業	特色ある 費に移行	図書館で	づくり)を目	指したい	١٥							

事

栃太市車務**車**業郭価夷

では 2 6 年度

_		棣式								1473 *	14112-3-1	373	J->/CH1	-	_							T-13% 2	0 千皮	
会	計	一般	款項目 10	00403 予算事	≇ ≒コード 567	905	事業区分	01 経常的	り事業 ま	新規	/ その他	2	その他					基本	施策			単位	施策	
事	€名	栃木市	図書館西方分館	管理運営費	ł									Ŧ	5201	生涯学習	の充詞	実			生涯学習	環境の充乳	実	
担係・	部部 担当	₹ チーム名	教育委員会	生涯学習詩	果 社会教育	担当			担当	当者	須見 誠			従										
事	美の性	質 2	自治事務	根拠法令等	栃木市図記	書館条	※例・栃木市図書	館の管理及	び運営に	こ関す	る規則					事業期間	Н	2 3	~ H 2	5 年度	全体事第 (人件費		3,	227 千円
事業の概要	• [業完了(調 図書館資 主要事業	■業期間のない事業 は料等の管理を含 は】	は平成31年度 含む、計画的	度) までに、誰 的・効果的	(何)を な施記	、どういう方法で、 设の管理運営を	どうしたいの :図る。	か。対象、	手段(の記人)		幸 ┃・図	图書館		間のない事業 ごスを充実					里を図り、	生涯学習の	D機会創出(
単	立:	千円、ノ	平成25年度決	等額 平成26年	年度決算見込							所分	も 果 しゅう						.平成29年	ィア年間活 度で4,800 000人(現場	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出	では、 で成25年度 は支出金 で成25年度 「事業の内容」 ・栃木市図書館西方分館の施設・理演賞を行る。																	 平成	 i 2 6 年度			
	県支出金 0 【事業の内容】 ・栃木市図書館西方分館の施設の理運営を行う。																							
	事業 事業 書業 書業 書業 一般財源 2.639 【事業の内容】 ・栃木市図書館西方分館の施設 理運営を行う。 内容 「成果】 ・窓口業務のため臨時職員2名 ・図書館資料の整理用品等とし												掛持及で	び管										
事	素												> == 1 +	<u>-</u>										
業費		一般財源	京 2,	,639		合 そ	・図書館	資料の製	り踊时 整理用	品等	貝∠石で 等として	で消	単純品で	こ。 を購	į									
指標		事業費	a 2.	. 639		しの	入した。 																	
の	の 人件費 り 来 , 担定長珪有利及導入のにめ										ため、 ^I 学費に新	平月	艾26年 <i>[</i>	度か	\									
178	推 移 減価償却費 c										未見に	シı.	J											
総事業費 a+b+c 7.514 指標名											算上	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上	
	結身	果指標 1	7,237	7.00		図書館	館サービス利用件数	数 1	貸出件数、 ービス件数	自主 数の合	事業参加数 計 H25目標	、レ票数値	ファレンフ 直:6,500件	、サー 	ビス件数	、コピーサ	件	事業の事後評価	× = IT	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	イ、237.00 人館者数 結果指標 2 人館者数 人館者数 人館者数											,000	人				人	 価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・計画的・効率的な施設の維持管理を行いながら、地域の図書館として特色ある図書館づくりを目指したい。 (指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行)

事後評価備考

事

栃太市車務**車**業郭価夷

では 2 6 年度

_=	_	棣式	, 1											144				5 VIVA:									1 77% 2	0 千皮	
会	計	一般		款項目1	00403	3 予算事業	コード 5	56800	04	事業区分		01 経常	常的事業	新	規 /	その他	2	その他					基本	施策			単位	施策	
事美	能名	都賀図	書館	官管理運営費	t														主	5201	生涯学習	の充実	実			生涯学習	環境の充実	美	
担 係·	当部部 担当	果 チーム:	名	教育委員会	生涯	学習課	社会教	教育担	当					担当者	須.	見誠			従										
事業	美の性	±質 2	自	治事務	根拠	法令等	栃木市	図書館	館条	例・栃木市図	書館	館の管理	及び運	営に関	する	規則					事業期間				5 年度	全体事 (人件費		73,	572 千円
事業の概要	(事 ・[i 【 i	^{議完了} 図書館 主要事	資料	期間のない事業 等の管理を1	は平成: 含 む 、	31年度)計画的	までに、 ・効果	、誰(何 尽的な	^{可)を、} :施設	どういう方法* との管理運営	で、と 'を 図	どうしたい 図る 。	1のか。対	象、手	段の記	7人)		達 ・図	書館		^{間のない事美} えを充実					里を図り、	生涯学習の)機会創出(
単位	位: I	千円、	人	平成25年度決	·算額	平成26年	度決算見	記									ħ	施果						.平成29年	ィア年間) 度で4,800 000人(現料	舌動回数)回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支	出金		0			4	Т					平成	, 2 5			(宗							平成				
		県支出	出金		【事業の内容】 ・都賀図書館の施設の維持及び管 っ。 内 【成果】																								
	事 地方債 ・ 都賀図書館の施設の維持及び管 。													管理	里運営で	を行													
事	素													たほ	2田1.#	_													
事業費・	134												託等	実於	色した。														
指標		事業	費 a	4	,699			- 11	の成	入した.					_														
がの推	人作	牛費	b	7	,500	┃										平万	以26年月	まか	L										
移	減值	西償却!	費 c					L		ら図書	館	管理道	営委	託事	業	費に	移行	<u>7</u>											
	総事	#業費 a+b) + C	12	. 199					指標名							算	出方法				単位	事業	ᄍᄱᄮ	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向 ト
	結	果指標	1	53,486	,,,,,		図書館サービス利用件数 貸出件数、自主事業参加 ービス件数の合計 H25											·ファレンス 直:54,000f	,サー 件	ビス件数	、コピーサ	件	事業の事後評価	妥当性	削減の 余地 	受益者 負担	貢献度	の有無	の余地
	結	果指標	2	23,80	8.00			λ	館者	 数			年間入	館者数	—————————————————————————————————————	5目標数	値:2	24,000人				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・計画的・効率的な施設の維持管理を行いながら、地域の図書館として特色ある図書館づくりを目指したい。 (指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行)

事後評価備考

平成26年度

会	計	一般	款項目	100403	3 予算事業コ	□- F 56	69205	事業区分	02	政策的事	業 亲	新規 / その他	2	その他				:	基本抗	色策			単位	施策	
事	業名	栃木市図書	館西方分館	官施設團	整備事業	費									主	5201	生涯学習	の充実	Ī.			生涯学習	環境の充実	Ę	
担: 係·	当部部 担当	₹ チーム名	教育委員会	: 生涯	学習課	社会教	育担当				担当	1者 須見 誠			従										
事		2 自			法令等												事業期間				5 年度	全体事業 (人件費		2,	174 ^{千円}
事業の概要	西で	議完了(事業 市民への図 庁分館」を すいドアや を行う。 主要事業】	^{期間のない事美} 書館利用サ 書館利用サ 西方公民館 サッシの改	^{業は平成:} ービス 内に開 「修、他	31年度) スの公平化 引設した。 2の図書館	までに、 化・一名 公民的 館と設備	_{誰(何)を} 律化を図 館講堂を 備をそる	、どういう方法で、 図るため、 平成 を図書館とした ろえるための備	どう 24年 ため 品等	Uたいのか。 E度から「札 O、図書館の Fを購入する	^{諸象、} 京木 i こな。	^{手段の記入)} 市図書館 て利用し ど施設整		⇒ ・ が	6段の	D改修を	間のない事業 行い、図 もし、収容	書館と	:して	利用しや	すい施設を	とする。			
単位:千円、人 平成25年度決算額 平成26年度決算見込 国庫支出金 0													方	成 成 と 毎果 表 毎日 そ	: ちき L会教	ぎ未来ア 数育施設	'シストネ }利用者数	ット事 平成	業の i29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間注度で4,800 000人(現場	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
事業											平月	成25年度		•							平成	2 6 年度			
	事			Ť			事業の内容	【事業の・栃木市	図	書館西方	分	館の施設で	左 虫	と備する	3 C										
 								する。	<i>H</i> 31	百へのよ	、リ	快適な読		良児でが	定1兴	t									
業									出人	入口のト	ア	改修及び	殳쿨	きを解消	肖し	,									
指標		事業費 a	:	2,174			- そ の 成果	た。 ・雑誌書	架	を増設し	た	0													
() () () () () () () ()								・サッシ ・閉架書 平成25	改[架] 年	を整備し き事業終	排た了	。 煙窓修繕 〕 。) í ⁻	_丁 った。											
		事業費 a+b+c		5.549				指標名						出方法			•	単位	事		コスト 削減の	四兴李	上位	新 小車 坐	成果向上
	結果	果指標 1		00.00			事業進	 售捗率		累積	業費	ٷ÷全体事業費×	100	H25目標数	値:	86.8%		%	事業の事後評	妥当性	削減の 余地 	受益者 負担	貢献度	の有無	の余地
	結果	果指標 2		50.00			蔵書能			蔵書館	も 力増	曽加点数 H25目村	票数值	直:150点				点	評価						

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・段差のある出入り口付近とドアの改修・サッシ改修を行い、図書館の環境整備を図った。 ・雑誌用の書架を増設し、収容能力の拡大を図った。 (平成25年度終了事業)

事業改善計画

平成26年度

会	計	一般	款項目	100401	予算事業コー	۶82¢	301	事業区分	02	政策的	業	新規/その他	2	その他					基本的	拖策			単位	施策	
事業	绾	とちぎ未来	アシスト	ネット事	事業費(栃	木)									Ħ	5201	生涯学習(の充実	€			生涯学習	環境の充	実	
担当係・	部課担当:	! チーム名	教育委員会	生涯:	学習課 社	会教育	担当	社会教育チーク	4		担	当者 木村 信義	孝		従										
事業	(の性	質 2 自	台事務	根拠	法令等							•					事業期間	Н	2 3	~ H 2	9 年度	全体事		7,	077 千円
事業の概要	各とこ高	^{業完了(事業)} 学校と地域(らに、全地! とにより、 かる。 主要事業】	期間のない事 のつなぎ役 区に中学校 本市の教育	業は平成 3とである交区を基の柱と	3 1年度) まで コーディネ 本としたこ なるとち	でに、誰(ネータ・ アシス ぎ未来:	(何)を ーと トネ、 アシン	、どういう方法で、 学校支援ボラン ット本部(学校 ストネット事業	_{どう} ティ 支持 を打	_{したいのか。} ィアを発排 爱地域本音 佳進し、 ^は	^{対象} 国・養 B)を 地域の	、手段の記入) 養成すると E設置する O教育力を		達成目標	区に	こ中学校	間のない事業 区区を基本を 打を高める	とした			ト本部(含	学校支援地	域本部)を	を設置する。	
単化	立: ⁻	千円、人	平成25年度	決算額	平成26年度決	算見込							j.	施果			プシストネッ 3利用者数.	_		平成29年	度で4.800)回(現状値	(4,344回) (4人)		
		国庫支出金		0		0		Ι			<u> </u>			標		X13.00.		, ,,,		2 (101,		龙26年度			
		県支出金		368		459		 【事業の	内	 容】		13, Z 3 - 1 Z					[事業	 Éの「	 内容】	1 737	£ 2 0 + 13			
	事	地方債		0		0	事業	・全地区	に	中学校	区を	E基本とした 地域本部)を	とした	アシスト 凸罟 L	~ ネ		•	全地	1区	こ中学	交区を基	基本とし 或本部)	たアシ	ストネ	
事	寿	その他特財		0		0	の内容	│ 校支援ボ	5	ナロスンティ	ア治	動を推進す	す。 する	3 <u>目</u> 0、 3。	7	-	校	- 支援 支援	゙゚゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	ランティ	イア活動	かを推進	する。	U、 丁	
1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·										中学校	区を	基本とした	たえ	アシスト	へネ		•	全地	1区1	こ中学権	交区を基	基本とし	たアシ	ストネ	
指標 事業費 a 578 689 成果								・全ての	小	中学校	にま	型球本部)で いて学校す	をi 支i	殳直し₹ 爰ボラン	こ。 ノテ	_	•	全て	. の!	小中学村	交におり	域本部) ۱て学杉	を設直 支援ボ	した。 ランテ	
がの推	人件	F費 b	5,625	Ę	5,250	イア活動 ・学校・	を地	推進し 域コー	た。 ディ	ィネーター	开作	冬を開催	¥٤	,	1	ア記 学材	動る え・t	を推進し 地域コー	」た。 −ディオ	トーター	·研修を	開催し			
移 減価償却費 c 0 上 た。											VII.	<i>-</i>	_		た						W115 C	<i>γ</i> ,5,μ. ο			
総事業費 a+b+c 6.203 5.939 指標													算	出方法			Ī	単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	
	結身	果指標1	1,5	58.00	3,19		ボラン	ソティア活動回数		年	引活動	回数:H26目標値	: 150	00回				回	事業の事後評価	X J I	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	1,558.00 3,196.00 ボランティア数 ボランティア活動延										ィア活動延べ人数	: H2	26目標値 90	00人			人	評価	妥当	無	適正	有効	有	有	

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を 推進するため研修会等を実施する必要がある。

平成26年度

	,	1水工()											_	_									
会	計	一般	款項目 100	0401 予算事	第 コード 582	2302	事業区分	02 政策的	事業 新	規/その他	2	その他				į	基本於	 色策			単位	施策	
事美	€名	とちぎ未え	来アシストネッ	/ト事業費	i(大平)					_			主	5201	生涯学習の	D充実	<u> </u>			生涯学習	環境の充	実	
担 係•	当部語 担当・	₹ チーム名	教育委員会	大平教育才	支 大平公民	館チ	- Д		担当者	松本文男			従										
事業		質 2 自		根拠法令等											事業期間				9 年度	全体事		5,	000 千円
事業の概要	各当とこ高	議完了(事業学校と地域 もにより、 とにより、 かる。 主要事業】	^{護期間のない事業は} のつなぎ役で 別区に中学校区 本市の教育の	^{平成31年版} あるコー・ あるコー・ を基本と 柱となる。	^{度) までに、誰 ディネータ したアシス とちぎ未来}	(何)を ーと トネ アシ	、どういう方法で、 学校支援ボランット本部(学校 ストネット事業	どうしたいのか / ティアを発 変支援地域本 変を推進し、 ¹	。対象、手掘・養成部)を設地域の教	_{段の記入)} すると 置する 育力を) 	幸 全地	区に	中学校	間のない事業は 区を基本と 打力を高める	こした				学校支援地	域本部)を		
単位	立:	千円、人	平成25年度決算	章額 平成26 ²	年度決算見込						施策	通果 受目 社	: ちき :会教	デ未来ア 対育施設	'シストネッ 8利用者数	ノト事 .平成	業の :29年	ボランテ 平成29年 度で787,	ィア年間) 度で4,800 000人(現場	舌動回数)回(現状値 犬値715,62	(4,344回) (4人)		
		国庫支出金		0	0	Г	<u> </u>		 平成			標							平点	 t 2 6 年度			
																事業	の ア	内容】					
	#												へ 学		• 1	全地	区区	こ中学権	交区を基 支援地は	基本とし	たアシ を設置	ストネール 学	
事 費 その他特財 0 0 内内 校支援ボランティア活動を推進で 2 日本 1 日本													,		校		ボラ			がを推進		0, 1	
業											こア	<u> </u> シス	へ		• 1	全地	区区	こ中学権	交区を基	本とし	たアシ	ストネ	
113 126 12										戦本部)を Tて学校s	と設 支援	き直した ぎボラン	こ。		• 1	全て	のし	小中学村	交におり	&本部 <i>)</i> 1て学校	を設置 支援ボ	した。 ランテ	
横															イ:	ア活 学校	動を	を推進し 地域コー	した。 - ディオ	トーター	研修を	開催し	
移 減価償却費 c															た。								
総事業費 a+b+c 1.613 1.626 指標名											算出	出方法			Ĕ	単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標1	939.	00	1,296.00	ボラン	ンティア活動回数	年	間活動回数	牧 H26目標値:	150[<u> </u>				回	い 事 後	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	1,290.00 1,290.00 ボランティア数 ボランティア活動述 ボランティア活動 ボランティア活動述 ボランティア活動 ボール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バール・バ										H26	6目標値:4	,027,	人 人		人	事後評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報 啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を 推進するため研修会等を実施する必要がある。

平成26年度

		135.20											_									
会	Ħ	一般	款項目 10040	71 予算事業コード 582	2303	事業区分	02 政策的	事業新	規/その他	2	その他				:	基本的	拖策			単位	ī施策	
事業	名	とちぎ未来	ミアシストネット	事業費(藤岡)								主	5201	生涯学習	の充実	€			生涯学習	環境の充	実	
担当係・	部課 担当:	₹ チーム名	教育委員会 藤岡	別教育支 生涯学習	3担当	藤岡公民館チー	-Д	担当者	者 阿部多佳子	-		従										
		2 自		L法令等					•					事業期間	Н	2 3	~ H 2	9 年度	全体事第 (人件費		1,	400 千円
事業の概要		議院了(事業 学校と地域 もに、中学 本市の教育 主要事業】	^{期間のない事業は平成} のつなぎ役である 校区を基本とした の柱となるとちき	31年度) までに、間 るコーディネータ たアシストネット ぎ未来アシストネ	(何)を ーと 本部(ット	、どういう方法で、 学校支援ボラン (学校支援地域2 事業を推進し、	どうしたいのか ティアを発: 本部)を設置 地域の教育	。対象、手掘・養成すること 対を高め	F段の記入) なすると により)る。	F	幸 中学	校区							也域本部)	を設置する	ることにより	
単化	立: ⁻	1130 /	平成25年度決算額	平成26年度決算見込						施策	成 と 製果 社 標	: ちき : 会教	デ未来ア 対育施設	シストネ利用者数	ット事 …平成	業の i29年	ボランテ 平成29年 度で787,0	ィア年間注 度で4,800 000人(現4	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金	0	0				平成			125							平成	 え26年度			
		県支出金	127	104		【事業の	内容】							1	事業	● の F	内容】					
	事業費	地方債	0	0	事業の	・全地区 ット太部	に中学校 (/ 学校支	区を基接地は	基本とした 或本部)を	こア	'シスト }罟し	ヽネ 学		・	藤田	〕公[比★≦	民館にフ 収)を証	アシスト ひ置し	↑ネット 学校ボ	本部(ランテ	学校支 ィア活	
事	費	その他特財	0	0	内 容	丨仪文拨亦	ランティ	ア活動	動を推進す	รื่อ)。)。	J		動	を推成果	進了	する。	XE O	1 12.3		1 / / 1	
業費	業 - ^{機財源} - [・] ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・											へ		•	全て	の	小中学校	交におい	1て学校	支援ボ	ランテ	
指標	指										と置した そボラン	こ。 ノテ		1 .	ア活学校	i動を を、な	を推進し 也域コ-	」た。 −ディネ	トーター	研修会	を開催	
の	が _{人件費} b													L	た。							
# 3.750 1,500 ・字校・地域コーディネーター										ביו ו	ا (برا ک د	<u> </u>										
総事業費 a+b+c 3.940 1.657 指標名										算出	出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結界	果指標 1	698.00	数 H26目標値:	760					回	事	ХЭЦ	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地					
	698.00 1,107.00 ボランティア数 ボランティア活動										6目標値:4	,360			人	後評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を 推進するため研修等を実施する必要がある。

	<u>' </u>	依式 I																		1 /2/2 =	0 +152	
会	計	一般	款項目 100	401 予算事業	≸⊐−ド 582	304	事業区分	02 政策的	事業 新	規/その他	2 Z 0	他				基本	施策			単位	施策	
事為	쇰	とちぎ未え	来アシストネッ	ト事業費	(都賀)							主	5201	生涯学習	の充実	Ę			生涯学習	環境の充実	実	
担当係・	部課 担当	! チーム名	教育委員会 者	『賀教育支	都賀公民	館チ・	- Д		担当者	田嶋律子		従										
事業	(の性	質 2 自	治事務 相	艮拠法令等										事業期間	引 H	2 3	~ H 2	9 年度	全体事 (人件費			229 千円
事業の概要	各ととめる	学校と地域 らに、全地 こより、本	^{舗関のない事業は平} えのつなぎ役です。 なのに中学校区を ないないないである。 は、またの教育の柱と	T成31年度 あるコーテ を基本とし こなるとを)までに、誰 ディネータ いたアシス らぎ未来ア	(何)を ーと トネ、 シス	、どういう方法で、 学校支援ボランット本部(学校3 トネット事業を	どうしたいのか ティアを発 支援地域本部 推進し、地 ^は	対象、手 屈・養成)を設置 ずの教育	段の記入) すると するこ 力を高	達成目標	全地区	に中学校		とした		度)の目標) ストネッ		校支援地均	或本部)を記	役置するこの	
単1	立:·	千円、人	平成25年度決算	額 平成26年	度決算見込						成 施果 策目						平成29年	ィア年間》 度で4,800 000人(現4	舌動回数)回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金		0	0				 平成	2 5 年度	作							平成	 t 2 6 年度	<u> </u>		
		県支出金	14	.3	84		【事業の	 内容 】	1 1-2						【事業	≝ØΓ	 内容 】					
	事業	地方債		0	0	事業	・全地区	に中学校	区を基	ま本とした	こアシ	ストス	ኦ ፟		・全地	区	こ中学権	交区を基準を	基本とし 本部)を	たアシ	ストネ	
事	寿費	その他特財		0	0	の内容	ファ 本品 支援ボラ	ンティア	活動を	生推進する	X重 U、 る。	-j- 1.	X	3	/ 1 4 5援オ	うり でラン	ンティス	ア活動を	生推進す	る。	、 丁 1X	
											こアシ.	ストネ	ኦ		・全地	区区	こ中学権	交区を碁	長本とし	たアシ	ストネ	
19 19 19 19 19 19 19 19											せ置した と援ボ	た。 ランラ	F		・全て	この	小中学村	交におり	本部)を 1て学校	支援ボ	た。 ランテ	
の _{人件費 b}										肝修を	開催し	,	1	ィア i 学材	動る シ・b	を推進し 地域コ-	」た。 清 - ディオ	舌動回数 トーター	[796 ·研修を]	開催し		
推											7112 C1	,13112								W/112 C1) ij ji i	
総事業費 a+b+c 964 869 指標名											算出方法	Ė			単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標1	889.0	0	796.00	件数		学	交支援ボラ	ランティア年間	活動件数	H2	6目標値:	880	件	事業の事後評価	X -1 I	余地	<u></u> 負担	貢献度	の有無	の余地
	結果指標 2 人数 学校支援ポランティ										———— 活動人数	H2	6目標値:	1,000	7	評価	妥当	無	適正	有効	有	有

- ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報 、啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を 推進するため研修会等を実施する必要がある。

平成26年度

		1.5													_										
会	計	一般	款項目	100401	予算事業コード	5823	305	事業区分	02	政策的事	業	新規/その作	也 2	その他				į	基本於	拖策			単位	ĭ施策	
事業	纟名	とちぎ未来	アシスト	ネット事	事業費(西方	(כֹ									主	5201	生涯学習の	充実	?			生涯学習	環境の充	実	
担当係・	部課担当:	・ チーム名	教育委員会	会 西方	教育支 西方	公民的	館チ-	- L			担	当者 宇賀神	玲子	-	従										
事業	(の性	質 2 自治	台事務	根拠	法令等							•					事業期間	H 2	2 4	~ H 2	9 年度	全体事			648 千円
事業の概要	各ととめる	学校と地域(5に、全地[こより、本7	^{期間のない事} のつなぎ役 区に中学校 市の教育の	^{業は平成 3} 役である 交区を基 D柱とな	3 1年度) まで コーディネ 本としたア るとちぎ未	に、誰(ータ- シスト 来アう	何)を、 - と学 トネッ	、どういう方法で、 学校支援ボラン ソト本部(学校3 トネット事業を	どう テ を接近 推近	o したいのか。 ィ アを発 振 [‡] 地域本部 生し、地域	^{対象} 記・養 を 設 の 教	、手段の記入) 養成すると 設置するこ 対育力を高		達 全	也区	こ中学杉	間のない事業は 区を基本と 打を高める	した				学校支援地	域本部)を		
単作	立: ⁻	千円、人	平成25年度	決算額	平成26年度決算	見込								施果丨			⁷ シストネッ &利用者数			平成29年	度で4.800)回(現状値	[4,344回) [4人)		
		国庫支出金		0		0	П				JI.			標							•	26年度			
		県支出金		90		63		 【事業の	内	 容】		-13, 2 3 +13					[]	1業	<u></u> თ ნ	内容】	7-13.	£ 2 0 1 15			
事業 地方債 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								・全地区	に	中学校	区を	を基本とし 地域本部)	た。	アシス	トネ	<u>;</u>	• 🛓	全地	[区i	こ中学	交区を基本学出り	基本とし 或本部)	たアシ	ストネー	
業 その他特財 0 一般財源 50 31								校支援ボ	$\frac{1}{2}$	子位又	ア活	型域本部) 舌動を推進	きする	は且し、 る。	-5	-	校式	C 支援 成果	ボラ	ランティ	く接地が イア活動	る本部) かを推進	で設量する。	U、 子	
業 - 般財源 50 - 8 【成果】 ・ 全地区に ・ 2 ット本部(生								中学校	区を	基本とし	た	アシス	トネ		· 4	全地	区区	こ中学権	交区を基	基本とし	たアシ	ストネ			
指 事業費 a 140 94 の ・全							・全ての	小	中学校	にま	也域本部) らいて学校	をi 支技	设置し7 爰ボラ)	こ。 ソテ	<u>-</u>	· <u>{</u>	全て	のし	小中学村	交におり	域本部) 1て学校	を設査 支援ボ	した。 ランテ		
しの	の 人件費								推進し 域コー	た。 ディ	ィネーター	- 研 (とを開(崖l.	,	イブ・当	ア活 学校	動を ・」	を推進し 地域コ-	した。 - ディス	トーター	·研修を	開催し		
移	移 減価償却費 c 0 上 た。										~11	<i>-</i>			た。	- 1					W112 C),jj			
	総事業費 a+b+c 1,640 1,594 指標名										算	出方法			単	单位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位		成果向上		
	a+b+c 1,640 1,55 結果指標 1 260.00 527.0						ボラン	/ティア活動回数		回数	Ż .	H26目標値	2 5	50回			1	回	の事後評価	メーユ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
										H 2 6 目標値	1 ,	000人					評価	妥当	無	適正	有効	有	有		

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努めたところ、地域へ事業が浸透され、ボランティアへの意識が高まった。 ・地域教育協議会に活動部、研修部、広報部を部会を設置し、部会ごとの活動を行った。設置1年目であるため、今後の活動の充実に努める。

事業改善計画

平成26年度

		135.20																				
会	Ħ	一般	款項目 10040)1 予算事業コード 582	2306	事業区分	02 政策的事業	新期	規/その個	也 2	その他				:	基本的	施策			単位	施策	
事業	名	とちぎ未来	ミアシストネット	事業費(岩舟)								主	5201	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	環境の充乳	実	
担当係・:	部課 担当:	! チーム名	教育委員会 岩舟	舟教育支 生涯学習	担当	岩舟公民館チー	- Д	担当者	早乙女	透		従										
事業	の性	質 2 自	治事務 根排	心法令等										事業期間	Н	2 6	~ H 2	9 年度	全体事第 (人件費			693 千円
事業の概要	(事合とれば)	業完了(事業 子学校と地) ともに、地 主となると 主要事業】	期間のない事業は平成 域のつなぎ役で 域アシストネッ ちぎ未来アシス	3 1年度) までに、誰 あるコーディネー ト本部(学校支援 トネット事業を推	(何)を ター 地域 進し	、どういう方法で、 と学校支援ボラ 本部)を設置す 、地域の教育力	^{どうしたいのか。対} ンティアを発掘 ることにより、 を高める。	像、手 軽・育 本市	_{段の記入)} 成する の教育		達成目標	業完了	(事業期 アシスト	間のない事業 ・ネット本語	は平成 部 (学	3 1年) 全校支	度)の目標) 援地域本	部)を設置	置すること	により、爿	地域の教育だ	
単化	文: ⁻	千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込							を果 			ンストネット と利用者数.			平成29年	度で4.800	舌動回数 回(現状値 犬値715,62	4,344回) 4人)		
		国庫支出金			Г			平成	25年度	<u> </u> E	標							亚村	 2			
		県支出金						1 75%	2 3 +13					ľ	事業	 É内?	 字】	1 137	0 Z O TIX			
	事	地方債			事業									•	地垣	なアミ	シストス	ネットオ	x部(学材 gボラン	交支援地	地域本	
事	乗 費	その他特財			 内 									推	進す	⁻る。	韭∪ 、-	广仪义7.	マハ ノン	J 1 J 1	位別で	
事業費・		一般財源		168	容 そ									•		はアミ			z部(学	校支援	地域本	
指標		事業費 a		168	て の 成									部	りを 小中	:設置 学	置した。 交におり	ハて学校	交支援ボ	ランテ	ィア活	
がの推	人件	i費 b		750	第												_ン た。					
移	減侃	面償却費 c																				
	総事	≨業費 a+b+c		918		指標名				算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	
	結身	果指標1		924.00	ボラ	ンティア活動回数	年間活	動回数	女 600回							事業の事後評価	ᆺᆿᄄ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結身	果指標 2		23 417 00	ボラ	ンティア数	ボラン	/ティア	7活動延べ人	、数 3,	000人				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	無

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・岩舟エリア地域教育協議会を設置し、地域・学校・家庭の教育現状を共有した。 ・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、学校コーディネーターが連携し、とちぎ未来アシストネット 事業を推進した。

事業改善計画

車

Ξ	<u> </u>	様式1									177.		ih a 4	为于,	卡町	川代							半成 2	2 6 年度	
会	計	一般	款項目1	00401	予算事業コー	584	406	事業区分	01	経常的事業	新新	規 / そ	その他	2 そ	の他				基本	施策			単位	ī施策	
事	業名	西根南集会	除所管理費													主 520	1 /	生涯学習の	充実			生涯学習	環境の充	実	
担係	当部記 担当	果 チーム名	生活環境部	人権	・男女 人	権推進	担当	大平隣保館チ	- Д		担当者	渡辺	四由夫			従									
事	業の性	達質 2 自	治事務	根拠	法令等 栃オ	市集名	会所条	条例		,		•			•	•	Į	事業期間	H 2 6	~ H3	1 年度	全体事 (人件費		2.	225 千円
事業の概要	集	議党 (事業 会所事業を 根南集会所 設を維持管 主要事業】	^{期間のない事業} 円滑に実施 事業を実施 理するため	は _{平成3} するた するた の経常	31年度)まで めに、適I めの経常的 的な事業	Eに、誰 Eかつ りな事	^{(何)を} 効果(効果(業。	:、どういう方法で 的に行う事業。	どうり	したいのか。対	象、手	段の記	入)	達成目標				のない事業は 商正に維持				適に使用す	· ることが ⁻		
単	位: 【	千円、人	平成25年度济	中算額 平	P成26年度決	算見込								成 施果 策目 標				シストネッ 利用者数…		平成29年	度で4.800)回(現状値	[4,344回) 24人)		
		国庫支出金									平成	2 5	年度	1							平成	戈 26年度	ŧ		
	_	県支出金					事											【 ∄	業の	内容】	一	今I田 72.7	ヾ レイ ト+±ゥ #	攸士仁	
	事業費	地方債					業の											一う。		依用朱	云川の官	3 连及し	が維持補	修在打	
事業	費	その他特財				2	内容											【 <u>万</u>	以果】 ☑成.26	年度実	績				
業費・		一般財源				489	そ												利用	者数	24回 1	45人			
指標	_	事業費 a				491	の成果																		
の推	人作	牛費 b				750	果 																		
移	減值	面償却費 c					L			•														•	
	総	事業費 a+b+c			1	.241		指標名					;	算出方	法			単	位		コスト 削減の	受益者	 上位	類似事業	 成果向上
	結	果指標1				,	執行至	*		決算額	i ÷ 予算	額ト	H26目標値	直 100%				(-	。 妥当性 	削減の 余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結	果指標 2				5.00	利用	者数		利用者	f数 H	126目村	票値 200	人						妥当	無	適正	有効	無	有
事業改善計画	(改善内容と	その効果を具	体的に言																					
事後評価備考																									

車

化十十亩双亩米河/丰丰

Ξ	Ħ	様式1									彻	小巾号	+ 7分	争耒	 	収	_						平成 2	26年度	
会	計	一般	款項目	10040	1 予算事業コー	۶84	506	事業区分	01	経常的事業	新規	見/その他	. 2	そのイ	也				基本	施策			単位	施策	
事業	業名	下津原集会	新管理費												∄	520	01	生涯学習の充	実			生涯学習	環境の充	実	
担验	当部語 担当	₹ チーム名	生活環境部	部 人権	・男女 人	、権推進	担当	大平隣保館チ	- Д	ž	□当者	渡辺由夫			従	É									
事業	業の性	達質 2 自	治事務	根拠	法令等 栃	木市集	会所条	:例		•						•		事業期間 H	2 6	~ H 3	1 年度	全体事		1.	984 千円
事業の概要	集活	議完了(事業 会所事業を 津原集会所 设を維持管 主要事業】	円滑に実施	色するた	めに、適	正かつ	効果的	、どういう方法で、 勺に行う事業。	どうし	ったいのか。対	象、手戶	段の記入)						間のない事業は平成 適正に維持管3				適に使用す	ることがつ		
単·	位: 【	1130 /	平成25年度	決算額	平成26年度決	算見込							j	成施果 施果 策目				シストネット! 利用者数…平月		平成29年	度で4.800)回(現状値	[4,344回) [4人)		
		国庫支出金									平成	2 5 年度		128							平成				
		県支出金					車											【事	<u> </u>	内容】	۸ - C - ۵ - ش	⁄	×,,4, + + ++	/ /- /-	
	事業費	地方債					事業の											・岩 / う。	けり	津原集:	会所の官	宮埋及び	維持補	修を行	
事	費	その他特財				6	内容											【成身		年度実績	结				
事業費・		一般財源				492	- そ												川用	者数 2	256回	2,675人	;		
指標		事業費 a				498	∐ທ∣											Ä	性/守	修繕	社 里场的	Ě地補 修			
がの推	人作	‡費 b				750	成果																		
移	減侃	面償却費 c																							
	総事	■業費 a+b+c				1.248		指標名					算	出方法				単位	事業	- 1/4	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標1				96.65	執行率	<u>z</u>		決算額	÷予算	額 H26目	標値	100%				%	事業の事後評価	妥当性	削減の 余地 	負担	貢献度	の有無	の余地
	結系	果指標 2				75.00	利用者	首数		利用者	数 H	26目標値 :	2,000,	人				Α	評価	妥当	有	適正	有効	無	有
事業改善計画		改善内容とる	その効果を具	具体的に	記入)																				
事後評価備考																									